

○衛生部

持之鑑札返納仕候間御書替被下度此段奉願候也

年月日

縣區國郡村
町番地

賣藥鑑札主

族

何之誰印

右讓受人

族

何之誰印

鑑札主所住地

戶

何之誰印

讓受人所住地

戶

何之誰印

長官宛 (但讓受人ノ管轄廳ニ出シ鑑札主ノ管轄廳ヘハ其旨ヲ届出ヘシ)

賣藥行商鑑札願書式

用紙美濃紙

賣藥行商願

一方名 一全

一全

一全

一全

一全

右之賣藥幾方今般行商仕度 (又ハ賣子何ノ誰ナ) 候間行商鑑札御下渡被下度別紙賣藥營業

(又ハ賣藥請賣業) 御免許ノ御指令寫相添此段奉願候也

縣區國郡村
町番地

族

年月日

賣藥營業人
又ハ請賣營業人

何之誰印

長官宛

戶

何之誰印

參考

○甲第三拾二號 明治十六年六月廿三日

賣藥營業者及請賣者ハ本年七月一日ヨリ別紙雛形ニ倣ヒ計算簿ヲ調製シ賣藥印紙稅檢査ノ節檢査ヲ受シヘシ

右布達候事

明治何年印紙買入還拂計算簿

何郡何村何番地

買入之部

營業人

何

之

某

(朱書) 七月以前買入
アル印紙殘余
アルトキハ本
年ニ限リ朱書
ヘシニ記載ス

月名	壹厘	貳厘	三厘	五厘	壹錢	貳錢	三錢	四錢	五錢	拾錢	計金
七月以前買入現在高	(全) 何枚	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 同	(全) 何圓
七月	何枚	同	同	同	同	同	同	同	同	同	何圓

○衛生部

○衛生部

○甲第六十六號布達 明治十二年三月十九日
產婆營業規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事
但從前產婆營業ノ者ハ來ル四月十五日迄ニ鑑札受取方可申出事

產婆取締規則

- 第一條 產婆ノ業ヲ營マントスル者ハ醫務取締ヲ經テ願出ツヘシ
- 第二條 產婆營業願出ル者ハ病院ニ於テ妊婦並ニ產婦取扱ノ手續試問ノ上免許鑑札ヲ下付シ又ハ下付セサルコトアルヘシ
- 第三條 鑑札ヲ所持セサル者ハ本年五月一日以後一切營業相成ラサル者トス
- 第四條 從前產婆營業ノ者ハ今度ヲ限り試問ヲ要セスト雖モ更ニ醫務取締ヲ經テ免許鑑札ヲ申受クヘシ
- 第五條 鑑札ヲ遺失シ又ハ燒失シ或ハ轉居スル時ハ醫務取締ヲ經テ更ニ書換又ハ受取方申出ツヘシ
- 第六條 鑑札ハ其一身ヲ限リ効アルモノトス故ニ之ヲ他人ニ貸シ與ヘ又ハ讓リ與フル等ノコトヲ禁ス
- 第七條 他管ニ轉移又ハ廢業スル時ハ其鑑札ヲ返納スヘシ
- 第八條 難産ニ逢フ時ハ每事醫師ト相議ルヘシ假令人ノ求メアリトモ妄リニ器械ヲ使用シ及ヒ藥劑ヲ與ヘ又ハ指圖スル等ノ事アルヲ禁ス
- 第九條 產婆ハ其取扱ヒタル出產ノ戸主姓名並ニ族籍並ニ生兒ノ男女死生等ヲ簿記シ置

明治十五年
甲第七號
第十條
改正

キ半年毎ニ取纏メ醫務取締ヲ經テ届出ツヘシ

第十條 此規則ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿六條ニ依リ處分セラレタル上縣廳ニ於テ一時營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

○甲第五十三號 明治十三年四月十九日

衛生ノ義ハ尤モ忽カセニスヘカラサル緊要ノ事ニ付過般中央及地方衛生會規則ヲ制定セラレ且地方廳中更ニ衛生課ヲ設ケ殊ニ本年甲第四十二號ヲ以布達候通衛生費トシテ内庫ヨリ若干ノ金員下賜候程ノ次第ニ付テハ退々相達スル義可有之處各町村ニ於テ戸長ヲ輔ケ人民ニ直接シ衛生事務取扱候者無之テハ行届カサル義モ可有之ニ付今般別紙町村衛生委員設置及撰擧方ヲ定メ町村衛生委員ヲ置キ勤務心得ノ各項爲取扱候條右法ニ依リ委員ヲ公選シ來ル五月五日迄ニ郡長ヲ經由可届出此旨布達候事

但木文施行ニ付テハ客年甲第百五十五號布達町村虎列刺病豫防規則ハ相廢シ候義ト心得ヘシ

町村衛生委員設置及選舉法

- 第一條 衛生委員ハ戸長ヲ輔翼シ該町村衛生事務ヲ負擔スルモノトス
- 第二條 衛生委員ハ成ルヘシ衛生ノ大意ニ通スル者ヲシテ之レニ充ルヲ要ス其選舉ハ町村ノ公選タルヘシ
- 第三條 衛生委員ノ數ハ每村四人以下該村協議ノ上便宜之ヲ定ムヘシ
但接續ノ村々於テハ協議ニヨリ二三村ヲ聯合シ本條ノ人員ヲ設置スルモ妨ケナシ

○衛生部

○衛生部

廿四

第四條 甲府市街、總町ヲ聯合シ四人ヨリ少カラズ六人ヨリ多カラサル委員ヲ置クヘシ
第五條 前三條四條ノ如ク人員ヲ定ムルト雖トモ各種傳染病流行ノ際ニ當リテハ臨時增員セシムルコトアルヘシ

第六條 衛生委員ハ左ノ各項ニ從テ選舉スヘシ

第一項 衛生委員タルヲ得ヘキ者ハ滿二十歳以上ノ男子ニシテ其町村内ニ本籍住居ヲ定ムル者タルヘシ

但左ノ各款ニ觸ル、者ハ衛生委員タルヲ得ス

第一款 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權停止ノ者

第二款 輕重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ刑ノ滿期後五年ヲ經サル者

刑法ニヨリ一年以上ノ懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者

第三款 舊法新法ニヨリ盜罪詐僞罪ニヨリ刑ヲ受ケ滿期後五年ヲ經サル者

第四款 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

第二項 衛生委員ヲ選舉スルヲ得ヘキモノハ滿二十歳以上戸主ノ男子ニシテ其町村内ニ本籍住居ヲ定ムル者又ハ全戸寄留ノ者タルヘシ

但第一項但書ノ各款ニ觸ル、者ハ選舉人タルヲ得ス

第三項 衛生委員ヲ選舉セントスルトキハ戸長ニ於テ豫メ選舉ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ定メテ其町村内ニ報告スヘシ

第四項 選舉ノ投票ハ戸長ヨリ付與シタル用紙ニ被選人ノ住所姓名年齢等ヲ詳記シ選

明治十五年甲第六十九號ヲ以テ但書改正
明治十五年甲第七十四號ヲ以テ第二款改正
明治十五年甲第六十九號ヲ以テ第二款改正
明治十五年甲第六十九號ヲ以テ第二款改正

舉豫定ノ日之ヲ戸長ニ出スヘシ

第五項 戸長ハ投票ヲ調査シ其最モ多數ノ者ヨリ順次當選人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ圖ヲ以テ之ヲ定メ若シ當選人其選ヲ辭スルカ或ハ法ニ於テ不適當ナル者ハ順次投票多數ヲ得タル者ヲ取り郡役所ヲ經テ縣廳ヘ開申スヘシ

第七條 衛生委員ノ任期ハ其町村ノ協議ニ任ズ但改選ノ節ハ前任ノ者ヲ再選スルコトヲ得

明治十五年甲第七十四號ヲ以テ改正

第八條 衛生委員任期中禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ辭令ヲ待クニ其職ヲ失フモノトシ及ヒ第六條第一項ニ掲グル各款ニ遭遇スルカ或ハ他町村ニ移住スルカ又ハ事故アリテ退職スルトキハ更ニ其欠ニ代ル者ヲ選舉スヘシ

第九條 衛生委員若シ不當器ニシテ町村ノ利害ニ關係スルト認ムルトキハ縣廳ヨリ改選ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 土地ノ便宜ニ依リ町村會議員ヲ以テ直ニ衛生委員ノ選舉人ニ充テント欲スルモノハ縣廳ニ伺出テ裁可ヲ經テ施行スルヲ得

明治十七年甲第五十九號ヲ以テ第十條改正

但町村會議員ニシテ第六條第一項各款ニ觸ルモノハ選舉人ニ充ルヲ得ス

町村衛生委員勤務心得
第一條 町村衛生委員ハ戸長ヲ輔ケ其町村内人民ヲシテ健全ナラシムル爲メ衛生ノ事務ヲ分任負擔スルノ設ケニ付其新設及改良ニ係ル事件ハ必ス戸長協議ノ上處分スヘシ但其町村ノ協議ニ係ルモノ町村會ノ協議ヲ經其他町村ニ關係スルモノハ其町村ニ合

○衛生部

廿五

○衛生部

議スヘシ

第三條 凡ソ傳染病ノ豫防其他衛生上ニ係ル布告布達及其成規アルモノハ其旨ニ從ヒ取扱フヘシ縣廳又ハ郡長ノ許可ヲ經テ施行スヘキ事件及決定シ難キ事件ハ縣廳又ハ郡長ヘ申出ツヘシ

但縣廳ヘ申出ルモノハ必ズ郡長ヲ經由スヘシ

第三條 人身ノ健康ヲ保持シ病毒ノ傳染ヲ豫防スル爲メ左ノ條項ニ從ヒ清潔法ニ注意シ及ヒ衛生上ノ利害ヲ考ヘ漸次改良法ヲ謀ルヘシ

但各自一己ノ身上ニ止ルモノト雖トモ説諭ノ力及ハサルモノ等ハ郡長ニ具申シテ説諭ヲ乞フヘシ

第一項 市街道路井戸水道下水便所肥溜芥溜等ヲ清潔ナラシメ及ヒ其建築修繕等漸次改良スル事

第二項 學校旅館屋借家芝居貸坐敷湯屋温泉場牛馬宿等ノ掃除方及ヒ建築方ニ注意シ漸次改良ノ見込ヲ立ル事

第三項 市街製造場蓄場屠場魚干場等ノ位置及ヒ建造方ニ注意シ健康ヲ害スヘキ事由アレハ之ヲ改良スルノ見込ヲ立ル事

第四項 衣食住其他習慣ニ依リ健康ヲ害スヘキモノニ注意シ改良ノ見込ヲ立ル事

第五項 各所墓地（町村共有）ノ經界ヲ見定メ及ヒ火葬場（全）ノ建造方ヲ吟味シ並埋葬火葬ノ取締ニ注意シ改良スヘキ事由アレハ其見込ヲ立ル事

第六項 驢牛馬捨場ノ取締並清淨方ニ注意シ健康ヲ害スヘキ事由アレハ改良ノ見込ヲ立ル事

第四條 人身ヲ傷害スルノ恐レアルモノノ取締方ニ注意シ左ノ條項ニ從ヒ勉テ其患害ヲ豫防スヘシ

第一項 腐敗セル魚鳥獸肉蔬菜類不熟ノ果物不良ノ醜藏食物及ヒ醜造ノ粉類等販賣スルモノノ取締方ニ注意シ之ヲ吟味シ之ヲ取締ナラス事

第二項 飲水ノ善惡水牛乳ノ良否其外飲料ノ腐敗醜造等ヲ吟味シ之ヲ取締ナラス事

第三項 毒藥劇藥腐敗藥墮胎藥及ヒ製藥賣藥ノ取締ナラス事

第四項 飲食物玩弄物等ヘ用ユル者着色料其他顔料染料等人身ニ傷害アルヤヲ吟味スル事

第五條 傳染病（即チ虎列刺腸室扶私發疹室私痘瘡麻疹實扶的里亞赤痢等）并家畜傳染病等發生ノ徵候アルトキハ直ニ之ヲ郡長及ヒ所轄警察署ニ報告シ速ニ豫防ニ着手シ且各戸ニ諭シ普シ豫防ヲ爲サシメ消毒法ヲ精密ニシ其人稠密ノ町村於テハ避病院ヲ設ケ患者死者ノ取扱方等ニ注意斡旋シ患者ノ出入全治死亡等ヲ日々郡長警察署檢疫委員等ヘ報告シ且埋葬火葬ノ手續及ヒ取締ニ注意シ日々ノ員數ヲ取調（町村共有墓地并）之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第六條 豫テ各戸ノ未痘兒ヲ取調ヘ普シ種痘セシムヘシ

但痘瘡流行ノ際ニハ説諭シテ再三種接セシムヘシ

○衛生部

○衛生部

廿八

明治十六年甲第四十一號ヲ以テ改正

第七條 郡長ハ取調開中スヘキモノノ種類左ノ條項ニ從ヒ每期之ヲ差出スヘシ

但差出期限及調書式ハ別ニ定ムル達ニ據ルヘシ

一出産婚姻死亡流産ノ員數

一中毒患者及死亡者ノ原因

一初再三種痘兒ノ區別及未痘兒ノ員數

一脚氣瘧疾癩病等病ノ有無類別及其多少

一壹年中施行スル衛生事務及衛生上ノ景況

第八條 町村醫ヲ設ケ貧民救療ノ方法ヲ考按シ及ヒ設置ニ係ル諸般ノ事務ヲ斡旋スヘシ

第九條 總テ衛生上ノ事項ニ就キ利害得失ニ意見アルカ又ハ疑ハシキコトアルキハ之ヲ

郡長又ハ縣廳ヘ質問スヘシ

第十條 前各條ノ外縣廳及ヒ主務官吏郡長等ヨリ臨時ニ指揮ナルコトアルキハ速ニ遵行

スヘシ

○甲第百八拾二號 明治十三年十二月廿二日

明治十二年甲第六拾九號布達死亡人届出手續并同年甲第七拾八號布達追加共相廢シ更ニ

別紙ノ通相定候條此旨布達候事

死亡届手續

死亡届方手續ヲ分テ甲乙兩種ト爲ス甲ハ人民ヨリ其(町)役所ヘ届出ルモノヲ該役所ニ留

置キ乙ハ醫師ヨリ衛生委員ヘ届出ルモノヲ取纏メ其月取調ルル死亡表ト共ニ郡役所ヘ差

明治十六年甲第四十三號ヲ以テ郡役

所ノ下ヲ經テ縣廳ノ五字ヲ削ル

出スモノトス

一死亡人アルトキハ其(戸主)ノ死亡ニハ其(第一号)届書式ノ通り相認メ豫テ治療受

ケ居リシ醫師ノ連署ヲ請ヒ之ヲ其(町)役所ニ届出ヘシ若シ醫師ノ治療ヲ受ケヌシテ

死亡ナル者アラハ是亦右書式ニ準シ相認メ直ニ其(町)役所ニ届出ヘシ

但專ラ本縣病院并分院ノ診療ニ係ル者モ本文ノ通心得ヘシ

一(町)役所ニ於テハ人民ノ届書ニ依リ戶籍増減ノ調及ヒ衛生委員ニ於テ死亡表取調ノ用

ニ供シタル上毎月分取纏メ其役所ニ備ヘ置ヘシ

一醫師ハ其治療中ノ患者死亡スルキハ其(戸主)ノ届書ニ連署スヘシ其上第二號書式ニ依リ

其死亡ニ係ル事項ヲ記シ更ニ之ヲ死者住地ノ衛生委員ヘ届出ヘシ

一數醫ノ治療ニ係ルモノハ其中主トナリタル醫員ニ於テ家人ノ届書ニ連署シ及ヒ自己ノ

届書ヲ出スヘシ相互ニ讓辭シ届方遷延スル等ノコトナキヲ要ス

第一號書式

死亡届

何郡何村幾番地 住居(寄留)

士族平民何誰 父母子孫

兄弟姉妹

職業 當何年何月幾年幾ヶ月

右ハ本月何日何々ノ病症相發シ何日何時終ニ死去候ニ付此段御届仕候也

○衛生部

廿九

明治十六年甲第四十三號ヲ以テ但書ヲ改正

○衛生部

三十

年月日

右戸主(親戚)

何ノ某印

何郡何村醫師

何ノ某印

何町役所御中

第二號書式

患者死亡届書						
郡町村番地	族籍戸主姓名	死者姓名年齢	職業	病名	治療	發病年月日時
死亡年月日時						
郡村						

明治年月日

醫師

何ノ某印

何郡何村

衛生委員御中

○甲第三拾七號 明治十四年三月十五日

明治十一年(三月)甲第七拾四號布達街路其他掃除規則別紙ノ通改定候條此旨布達候事

掃除規則

○第一節

總則

第一條 此規則ヲ設ル目的ハ人身ノ健康ヲ保持防護シ不時ニ流行スル疫癘疹毒ヲ豫防スルニアリ

第二條 此規則ニ掲ル處ノ各條ハ現時尤其忽セニスヘカラサル急務ヲ舉ルノミ故ニ其流行病等ニ際シテハ勿論平素ト雖モ各自各町村限リ諸般ニ注意シ一層清潔ナラシムヘシ
第三條 此規則ヲ遵行セシムル爲メ衛生官吏警察官吏又ハ郡吏於テ臨時人家ニ就キ檢査シ且下水溝渠ノ構造及ヒ便所ノ構造位置等健康ニ害アリト認ムルキハ改造ヲ命シ又ハ他ニ移サシムルコトアルヘシ

○第二節

普通毎戸ノ心得

第四條 各自一己ノ家室周圍ノ不潔ナルハ畜ニ該家人ノ健康ニ害アルノミナラズ其害延

○衛生部

卅一

○衛生部

テ近隣ニ及シ特ニ流行病等アルニ際シテハ一般公衆ノ害ヲ引起スヲアレハ必ラ注意ヲ用ヰテ掃除シ常ニ清潔ナラシムヘシ

第五條 暑中及ヒ烈風等ノ節ハ勿論平素ト雖モ路上ニ灑シ水ハ溝渠ノ惡水又ハ魚鳥其他不潔物ヲ洗滌シタル汚水等ヲ用ニヘカラス

第六條 宅地前ニ係ル街路ハ其居住人ニテ毎日〔雨天ヲ〕少クモ一回掃除スヘシ若塵芥汚穢物等散亂スルコトアレハ其都度取棄テ掃除スヘシ

但居住人心付カサレコトアレハ隣家互ニ心付ケヘシ

第七條 宅地内ノ掃除ハ固ヨリ其家ノ便宜ニ任スヘシト雖モ其芥塵汚物等久シク堆積濕腐セシメ必ク他ニ取棄ツヘシ其村落民家ニ於テ肥料ノ爲堆積濕腐セシムルモノハ成ルヘシ家宅ヲ離レタル場所ニ設ケ糞菰等ヲ以テ其上ヲ掩フヘシ

但甲府市街等ニテ芥棄場ナキ宅地ニテハ豫メ他ニ送ルヘキ所ヲ用意シ置クヘシ

第八條 厨下又ハ井邊等ヨリ流出スル下水路ハ石或ハ板等ヲ以テ構造シ務メテ惡水ノ停滞ヲ疏通シ傍近ノ地ヲ濕サ、ル様注意スヘシ

第九條 便所ノ不潔ハ最モ人身ニ害アリ且傳染病發生ノ媒介トナルモノナレハ時々内外ヲ洒掃シテ常ニ清潔ナラシムヘシ殊ニ下掃除時ヲ誤リ糞汗充溢シ又ハ糞池缺損シテ地中ニ滲透スル等尤相戒メ其飲用水ニ近キ便所ハ一層注意ヲ密ニスヘシ

但糞池ハ瓶又ハ堅牢ノ桶槽等ヲ用ヒ若シ破損スルコトアラハ速ニ修繕スヘシ

第十條 往來接近ノ宅地内ニ新ニ肥溜厠等取設クヘカラス其従前既ニ取設ケアルモノハ路上ヨリ見透カサ、ル様板其他ヲ以テ圍ヒチナスカ又ハ他ニ移轉スヘシ尤圍ヒチナシタルモノト雖モ以後修繕換樣替等ノ序アラハ必ク他ニ移轉スヘシ

○第三節 營業上ニ係ル心得

第十一條 馬車中馬宿並其溜リ場魚市場等ハ特ニ不潔ニ流シ易ク人畜傳染病ヲ引起スヘキ恐レアレハ別テ清潔ナラシムヘシ

第十二條 製糸場其他火氣及蒸氣ヲ用ヒ多數ノ工男女ヲ雇使スル製造所ノ如キハ暑熱ト蒸氣トニ薰蒸セラル、ハナリテ病發ノ恐アレハ必ク空氣ノ流通ヲ良クシ周邊ノ掃除ヲ清ラカニシ其精神ヲシテ快爽ナラシムヘシ

第十三條 河岸場諸市場運送業魚問屋料理屋飲食店牛肉店洗湯藥湯温泉場旅籠屋等ハ其甚シキ不潔ヲ醸スコトナシト雖モ亦汚穢物腐敗物等ヲ生シ來客ノ出入多キ業体ナレハ其清潔方等第十一條ニ准スヘシ

第十四條 劇場寄席諸興行所等其取締規則中ニ掲ル條項ヲ遵行シ掃除等怠ルヘカラスルハ勿論構造其他全体ノ清潔ニ注意スヘシ

第十五條 洗湯藥湯温泉場等ハ多ク惡水ヲ流出スルカ故ニ其下水路ノ淤泥塵芥ヲ掃ヒ停滯敗腐セシソナル様特ニ注意スヘシ

○第四節 町村共同ノ心得

第十六條 甲府市中及接續各村并宿驛等連楯比スル場所ハ第二節第六條ニ照シテ施行スルトモ又ハ一町村或ハ數伍共同シテ掃除夫ヲ雇ヒ置クトモ適宜ニ任ス其他點々散居ス

○衛生部

○衛生部

卅四

ル村落ハ協議ノ上適宜掃除行届クヘキ方法ヲ設ケテ施行スヘシ

第十七條 甲府市街及ヒ接續村々宿驛等ニテ縱横鑿通スル下水路ノ町村共同ニ當ニ係ル

モノハ各自ニニ係ルモノハ協議ノ上石或ハ堅牢ノ板等ヲ以テ構造シ惡水ノ傍地ヲ渾濁

スルヲ防キ且務メテ快通セシムヘシ

但鑿通シタル儘ニテ別段ノ構造ヲ爲サズ又構造アルモ醜惡ナル場所ハ改造又ハ修理

スヘシ

第十八條 下水ノ流域數町村ニ關涉スルモノハ聯合協議ノ上掃除等取扱フヘキ主幹人ヲ

定メ置ヘシ

第十九條 毎年二月及ヒ十月ノ兩度下水路ノ大掃除ヲナスヘシ

但泥土塵芥ノ類滯塞シテ流通快利ナラサルモハ其時ヲ待タズ速ニ掃除スルコト勿論

トス

第二十條 前條大掃除ヲ施行スルトキハ遲シモ其三日前ニ郡役所並警察署ヘ届出ツヘシ

但傳染病流行ノ兆アルトキハ郡役所ヨリ臨時大掃除ヲ命ジ又ハ之ヲ停止節限スルコ

トアルヘシ

第二十一條 下水ノ掃除ニヨリ浚ヒ揚ケタル所ノ淤泥塵土ハ必ス芥棄場ニ送り人家接近ノ

地ニ堆積シ又ハ道路修繕等ノ用ニ供スヘカラズ

但人家ヲ隔テタル田畑ノ培養ニ供スルハ妨ケナシ

第二十二條 甲府市街ノ如キ人家稠密ニシテ芥棄場ナキ處ハ郊外ニ棄場ヲ設ケ置ヘシ前條

下水路ノ淤泥等モ亦該場ニ送り棄ツヘシ

但毎戸ノ塵芥各自郊外ニ送り出スノ煩ヒヲ省ク爲メ一町或ハ數伍及ヒ長屋向等共同

シテ左ノ圖ノ如キ汚芥溜ヲ構造シ便宜ノ場所ニ備置キ之ニ投棄シ其掃除人ヲ定メ時

ヲ計リ郊外ニ運搬セシムヘシ

汚芥溜箱ノ圖

汚芥溜箱前ノ圖

汚芥溜ハ斜面ノ蓋ヲ

付シ日常注意シテ乾

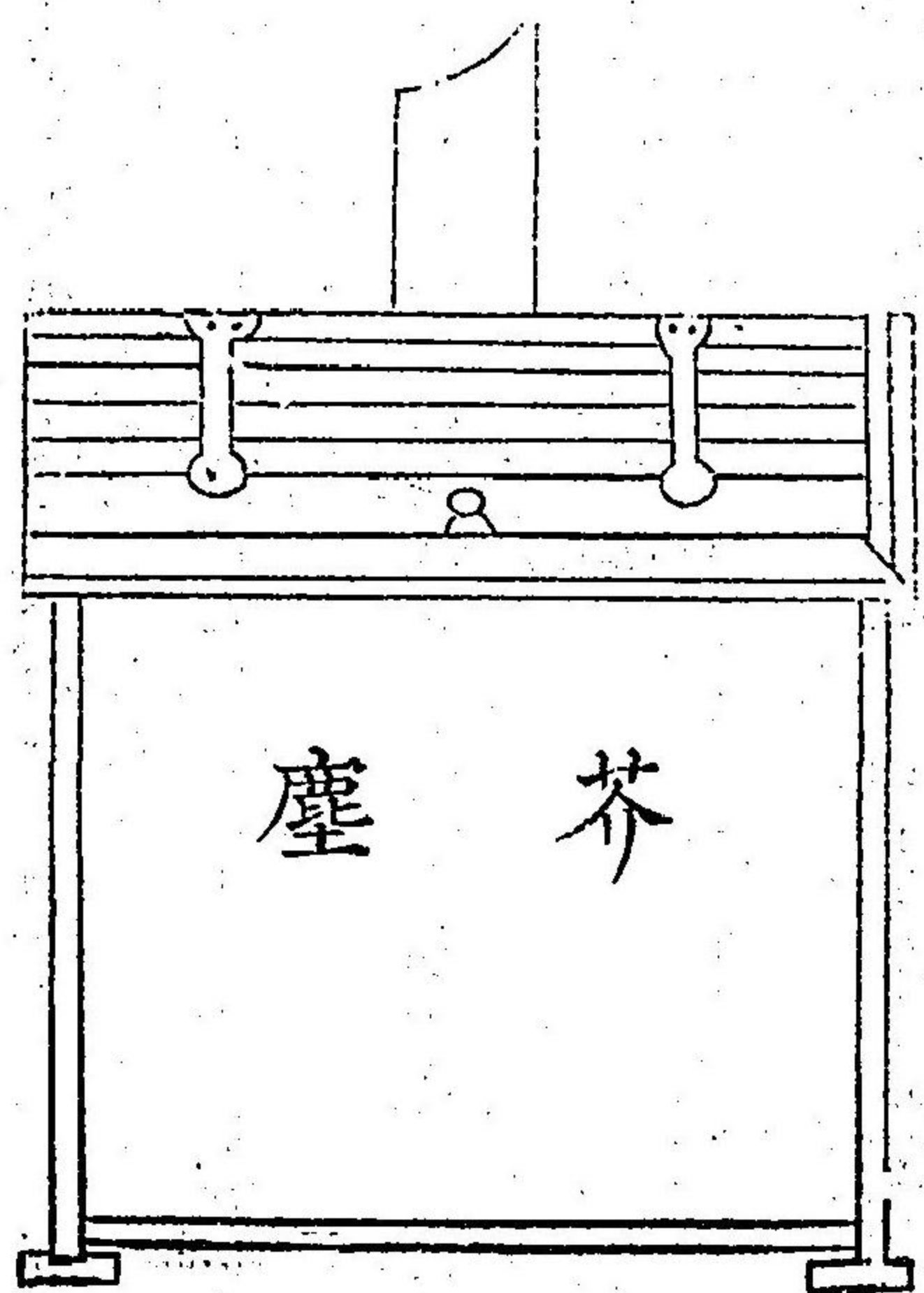
淨ナラシメ該置場所

ノ廣狹ニ由リ大小適

宜ニ構造スヘシ

漏臭管ハ高サ六尺以

上ヲ要ス

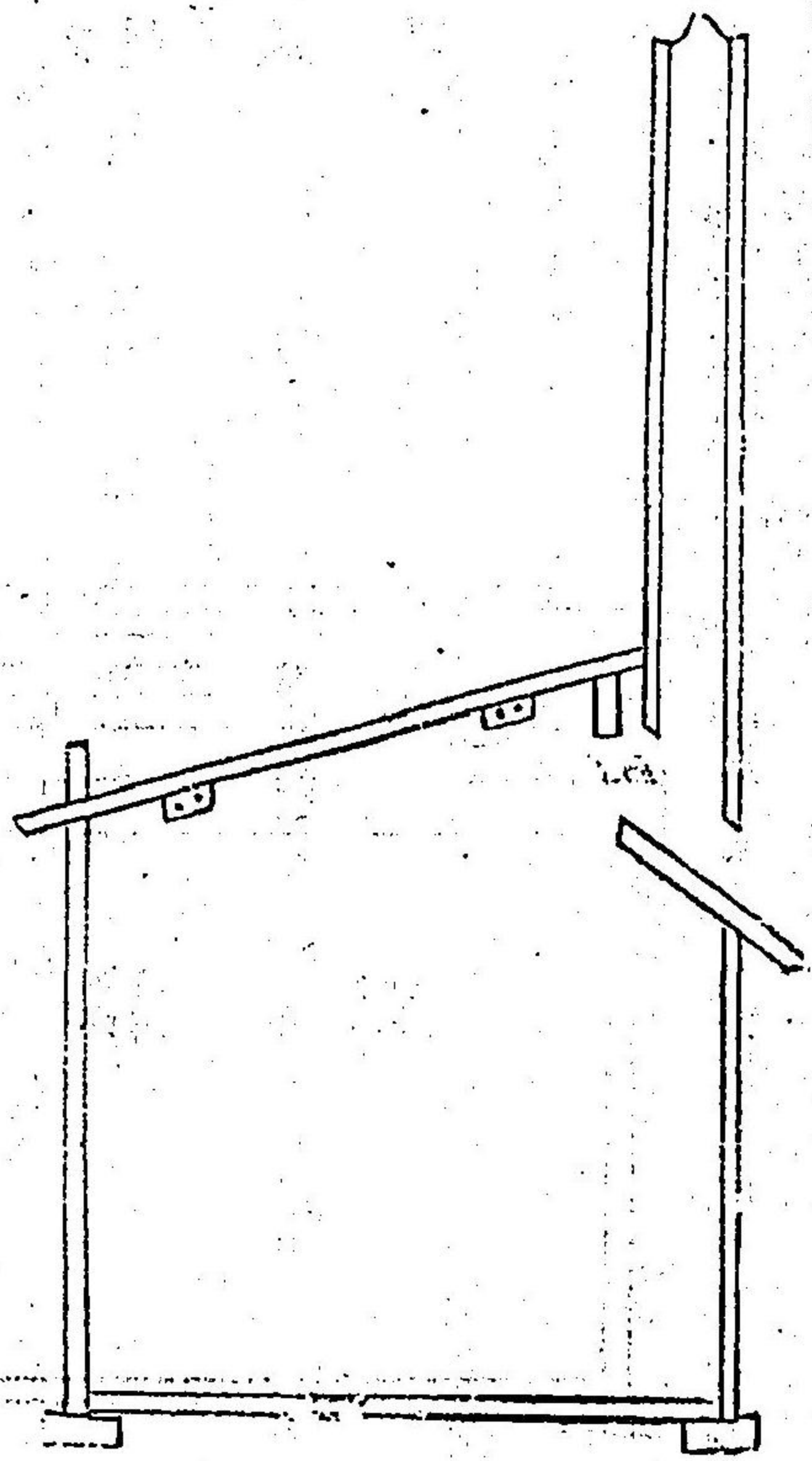


○衛生部

卅五

○衛生部

合側面ノ圖



卅六

第廿三條 前條郊外ノ芥捨場ノ塵芥汚物堆積スルハ速ニ燒却若クハ埋却スヘシ

第廿四條 街上又ハ路傍ニ於テ公眾ノ爲ニ設ケタル便所ハ（私立ハ其所有主）其町村於テ掃除ノ方法ヲ定メ郡役所及ヒ警察署ヘ届置クヘシ

但汲子ヲ使用シ又ハ請負人ヲ定ルトキハ其約定書ヲ取置其寫ヲ郡役所及ヒ警察署ヘ差出シ置ヘシ

○第五節

掃除ノ施行及其取締

第廿五條 掃除ノ方法ヲ設ケ及ヒ改良ノ事業ヲ圖ルハ總テ衛生委員ニ於テ負擔シ戸長協

議ノ上施行スルモノトス

第廿六條 町村共同ニ係ル掃除ノ検査ハ專ラ衛生委員其責ニ任スト雖モ其伍組ニ係ルモノハ伍長之ヲ分擔スヘシ

第廿七條 伍長検査ノ際掃除不行届ノ戸アルトキハ之ヲ督責シテ掃除セシムヘシ若シ從ハサルモノアルトキハ衛生委員ニ告ケ説諭ヲ乞フヘシ衛生委員之ヲ諭スモ尙從ハサルトキハ戸長ト謀リ郡役所ヘ届出ヘシ

○第六節

附則

第廿八條 塵芥其他不潔物ハ飲用水ハ勿論下水路タリトモ投棄スルヲ禁ス

第廿九條 塵芥汚物ノ棄場ヲ設ルトキハ人家ヲ離レ用水路ニ差障リナキ場所ヲ撰ミ官私有地ニ拘ラズ繪圖面ヲ添ヘ郡役所ヲ經願出許可ヲ受クヘシ

第三十條 此規則ニ違背シ衛生官吏警察官吏及ヒ郡吏員ノ指揮ニ從ハス或ハ戸長衛生委員ノ説諭ヲ用ヒサル者ハ刑法第四百廿六條第四百廿八條第四百廿九條ニ依リ處分セラ

○甲第四拾壹號 明治十四年三月十六日

明治八年甲第三百三拾四號布達種痘規則別紙之通改正候條此旨布達候事

種痘規則

第二條 全管ヲ數區ニ分テ（明治十二年三月改）種痘區トス各種痘區ニ種痘醫ヲ置キ區内各町村ノ種痘ヲ施行セシム

○衛生部

○衛生部

卅八

- 第二條 各町村種痘定日種痘醫巡回方法等、郡長ノ指定スル所ニ從フヘシ
- 第三條 小兒出生セハ天然痘豫防規則〔明治九年內務省〕第一條ニ依リ七十日ヨリ滿一ケ年間ニ必ス種痘ヲサシムヘシ若事故アリテ此期ニ後ル、モノハ其事由ヲ衛生委員ヘ届出ツヘシ
- 第四條 種痘ヲ受ケタルモノハ其次ノ種痘定日必ス善感不善感ノ検査ヲ受ケ若シ初種不善感ノ者ハ猶又種痘ヲ受クヘシ
- 但鑑定ヲ受ケサルモノハ種痘未濟ノ者ト見做シ他日必ス種痘セシムヘシ
- 第五條 初種濟ノ者ハ爾後五ケ年目毎ニ第三條ノ手續ヲ以テ再種ヨリ三種迄種痘スヘシ但再三種ノ者ハ善感不善感ニ拘ラズ種痘濟ノ証書ヲ與フヘシ
- 第六條 初種未濟又ハ種痘ノ度數畢ハラサル者ヲシテ他ノ町村ヘ送籍スルカ或ハ永ク寄留スルトキハ其旨先方町村衛生委員ヘ届出第三條第五條ニ依リ初種又ハ再三種痘ヲ爲スヘシ
- 第七條 天然痘流行スルトキハ種痘ノ期限ニ拘ハラズ未痘兒ハ勿論再三種痘未濟ノ者ハ速ニ種痘ヲ受クヘシ但其流行ノ景況ニヨリ再三種痘濟ノ者ト雖モ猶種痘セシムルコトアルヘシ
- 第八條 貧困ニシテ種痘シ能ハサル事情アルモノハ其旨衛生委員ヘ申出ヘシ
- 第九條 衛生官吏及ヒ警察官吏郡吏員於テ臨時種痘ノ濟否ヲ検査スルコトアルヘシ若シ種痘期年ヲ過ルモノアルトキハ直ニ種痘ヲ爲サシムヘシ

○甲第百號布達 明治十四年七月四日

- 衛生事項ニ付テハ追々布達ノ旨モ有之候處該事項タル近傍數町村ニ關聯シ其利害ヲ同フナルモノ不少若シ之ヲ個々各別ニ施行スルトキハ自他ノ不便ノミナラス傳染病ノ豫防地方病ノ驅除等或ハ其無効ニ屬センヲ恐ル、モノアリ故ニ地勢ノ自ラ一區域ヲ爲シ利害共同フナル町村聯合シテ衛生會ヲ開キ協同一致勉メテ一轍ニ出ソトテ圖ルハ今日ノ急務ニ付別紙町村聯合衛生會設立方案取調相示候條右ニ依據シ協議ノ上該會開設倍々衛生事業ノ改良ヲ圖リ候様可致此旨諭達候事
- 但本文ノ規則ハ郡長ヲ經由シ縣廳ノ認可ヲ得テ施行スル義ト心得ヘシ
- 町村聯合衛生會設立案
- 第一條 本會ハ衛生上ニ係ル布告布達ヲ實施スルノ方法順序ヲ談議シ及町村衛生事項ノ改良ヲ圖ル目的ヲ以テ設ケルモノトス
- 第二條 聯合ノ區域ハ成ルヘク二三ケ村若クハ數村地勢ノ自ラ一區域ヲ爲シ傳染病豫防等共同施行セサルヲ得サル地ニ依リ聯合ヲ定メ郡長ヲ經テ縣廳ノ認可ヲ得ヘシ
- 第三條 聯合衛生會ハ左ノ職員ヲ以テ編成ス

衛生委員

町村會議員

開業醫師

第四條 町村會議員及ヒ開業醫師ノ人員ハ聯合區域ノ廣狹大小ニ依リ聯合町村ノ戶長協

○衛生部

卅九

○衛生部

明治十四年
甲第百廿號
以第六條
修正

議ノ上之ヲ定ムヘシ但町村會議員ヨリ出ス會員ハ町村會ニ於テ開業醫師ヨリ出ス會員
ハ本會ニ於テ擧スヘシ

第五條 會長ハ聯合町村戸長中ヨリ副會長ハ會員中ヨリ本會ノ公選ヲ以テ定ムヘシ

第六條 議事ノ細則ハ議會ニ於テ議定シ之ヲ施行スヘシ

第七條 本會ハ少クモ隔月一回之ヲ開クヘシ

但郡長及聯合町村戸長ニ於テ特ニ會議ヲ要スル事件アルトキハ臨時會ヲ開キ又會員
半數以上ノ請求ニ依テ之ヲ開クヘシ

第八條 本會ニ於テ議定スヘキ要件左ノ如シ

一 衛生上ニ係ル布告布達並報告等實施ノ方法

一 傳染病豫防法實施ノ方法

一 縣廳及ヒ郡長並地方衛生會等ヨリ諮問ニ係ル事項

第九條 議案ハ戸長ヨリ之ヲ發ス但戸長ハ其會議ニ付スヘキ事項ノ意見ヲ衛生委員ニ問

ヒ聯合町村戸長協議ノ上議案ヲ編成スヘシ

第十條 本會費及ヒ決議ノ事件ヲ實施スル爲メ要スル費用ハ各町村協議費ヲ以テ支辨ス

第十一條 本會ノ議事ハ之ヲ筆記シ時々其決議ノ要領ヲ舉ケ郡長ヲ經テ縣廳ニ報告スヘ

第十二條 本會ハ事宜ニヨリ衛生官吏警察官吏郡吏員等臨席主務ノ事件ニ付其旨議ノ說

示ヲ請ヒ又ハ地方衛生會委員縣立病院醫員等臨席衛生上心得ノ説明ヲ請フヘシ
○甲第百壹號 明治十四年七月八日

整骨科口中科及鍼灸灸治營業規則別紙之通創定候條從來營業者ハ本月三十日迄ニ可願出
此旨布達候事

整骨科口中科及鍼灸灸治營業規則

第一條 整骨科口中科及鍼灸灸治等ノ各業ヲ營業セントスルモノハ從來開業ト新規開業

トヲ論セス所轄郡役所ヲ經テ願出ツヘシ

第二條 前條開業出願ノ者ハ修業履歷ニ依リ其學術或ハ手術等本縣病院於テ試験ヲ遂ケ

修學ノ成績アルモノハ鑑札ヲ付與スヘシ

但他管廳ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ當縣下ニ於テ一時滞在又ハ寄留シテ營業セント

欲スル者ハ本條ノ試験ヲ要セスト雖トモ其本管廳免許ノ証ヲ以テ當縣ノ允可ヲ請フ

ヘシ

明治十五年
甲第百十八號
以テ但書
ヲ加フ

第三條 試験ハ毎月初ノ水曜日ヲ以テ定日トス故ニ出願ノ者ハ其定日五日前迄ニ願書ヲ

差出ヘシ若シ此期日ヲ過キ出願ノモノハ翌月ノ試験ニ送ルモノトス

第四條 前條試験ノ上開業免許シ難キモノハ其願ニ依リ再三修業ノ成績ヲ試験シ開業ヲ

差許スヘシ

但修業ノ間早キモ六ヶ月以上ヲ經ルニアラサレハ再試験ヲ爲サルヘシ

○衛生部

○衛生部

四二

第五條 整骨科ハ^{〔學術修業ノ履〕}本人ノ志願ニ依リ明治十二年內務省甲第三號醫師試驗規則第二條一科專門ノ醫術ニ準シ試驗ヲ受ルコトヲ得ヘシ

第六條 鍼灸灸治ヲ業トスルモノハ醫術治療中ノ病者ニ對シテハ該醫ノ承認ヲ受クルニアラサレハ施術スヘラカス

第七條 此規則ニ稱スル處ノ口中科トハ單ニ入齒拔齒等ヲナスモノニ止ルモノトス故ニ内服藥及ヒ皮下注注入法等ヲ施スモノ、如キ一科專門ノ醫術ニ關スルモノハ內務省醫師試驗規則ニ由リ願出テ試驗ヲ受クヘシ

但入齒一枚ニ止ルモノハ本文口中科ノ限外トス

第八條 免許鑑札ハ本人ニ限リ効アルモノトス故ニ讓與賣買ハ勿論代人施術ヲ爲スヲ許サズ

第九條 免許鑑札ハ滿三ケ年ヲ以テ免許ノ期限トス此期限ヲ過キ尙免許ヲ得ント欲スルモノハ舊鑑札ヲ返納シ更ニ新鑑札ヲ願受クヘシ

但他管下ニ移轉シ又ハ廢業等ノ節ハ速ニ返納スヘシ

第十條 水火盜難或ハ過誤等ニテ鑑札ヲ毀損シ若シハ失亡スルトキハ速ニ其旨届出ツ

但管内轉籍又ハ改姓名等ニテ鑑札面訂正ヲ要スルトキハ是亦其旨申出ヘシ

第十一條 人ヲ勸メテ妄リニ術ヲ售リ或ハ藥方ヲ指示スヘカラス

第十二條 前各條ノ旨ニ依リ該業ヲ營マントスルモノハ左ノ書式ニ照準シ願書ニ履歷書

ヲ添ヘ差出スヘシ

第十三條 此規則ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿六條ニ依リ處分セラレタル上縣廳ニ於テ一時營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

(願書式)

整骨科(或ハ口中科鍼灸灸治)開業願

何郡何町何番地 住居

何府何村何番地 寄留

何縣士族或ハ平民

何

(何誰父兄或ハ何)

私儀此度御規則ヲ遵守シ何々開業仕度候間御試檢ノ上御免許被成下度別紙履歷書相添

此段奉願候也

明治何年何月日

右

醫務取締 何 誰 印

右町衛生委員 何 誰 印

戶長 何 誰 印

何 誰 印

何 誰 印

長官宛

○衛生部

四三

○衛生部

履歷書

四四

何郡何町何番地 住居
何府何村何番地 寄留
何縣何族或ハ平民

(何誰父兄或ハ何)

何 誰

當何月幾年幾ヶ月

一何年號千支何月ヨリ何國何所某ニ從ヒ何學術及何手術(或ハ專ラ手)術ノミカ 年号千支何月迄何

ケ年幾ヶ月修業

一年号千支何月ヨリ何國何所ニ於テ開業年號千支何月ヨリ當縣下何郡何(町ニ移住)村ニ寄留引

續開業

右之通相違無御坐候也

年号何月日

右

何 誰 印

○甲第四百十六號 明治十四年 九月廿六日

諸製造所建設規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事

但從來取設ケ有之分ハ第一條ニ依リ來ル十月十日迄ニ取調可届出調査ノ上妨害アリト

認ムルモノハ改制セシムルコトアルヘシ

諸製造所建設規則

第一條 諸製造所(製糸鑄物製綿紡織陶)ヲ建設セント欲スルモノハ第三條以下ノ規程ニ

從ヒ左ノ各項ヲ具シ郡役所ヲ經テ縣廳ニ伺出テ許可ヲ受クヘシ

一工業ノ種類

一建設ノ位置敷地ノ坪數及其圖面(近隣建物ノ景况并其距離等ヲモ附記スヘシ)

一構造ノ摸樣建物ノ坪數及其圖面

一竈及蒸氣罐并水車水路構造ノ方法

一工男女ノ數

一工業ノ時間

第二條 縣廳ニ於テ前條ノ各項ヲ調査シ衛生上ニ妨害アルカ又ハ危險ノ虞アリト認ムル

トキハ其改制ヲ命スヘシ

又既ニ許可ヲ受ケタル後前條ノ各項ニ變更アルキハ同様伺出ツヘシ但其小部分ニ係

ルモノハ伺出ニ及ハズト雖モ臨時檢査ニ際シ不都合ト認ムルモノハ之ヲ改制セシムル

コトアルヘシ

第三條 製造所ノ建築ハ工業ノ種類ニ依リ各結構ヲ異ニスヘシト雖モ總テ工場内外空氣

ノ流通ヲ善クシ濕氣ノ侵潛ヲ防キ且出入口ヲ便ニシテ非常ノ事變ニ豫備スヘシ

第四條 火氣及ヒ蒸氣機關ヲ用ユルモノハ竈及ヒ蒸氣罐ノ數并其大小等工業ノ便否ニ從

フヘシト雖モ工場ノ廣狹ト工人ノ多少トニ依リ其適度ヲ酌量シ且豫メ火災ノ患ナキ様

注意シ其構造ヲ爲スヘシ

○衛生部

四五

○衛生部

但煙突ノ高サハ近傍人家ノ卑高ニ依ルヘシト雖モ甲府市街各地宿驛等人家稠密ノ地ニ於テハ凡ソ三丈六尺以上其他ハ三丈ヨリ卑カラサルヲ要ス

第五條 厠ハ井戸或ハ飲用水ヲ離ル、凡ソ四間以上ノ場所ニ於テ取設クヘシ

第六條 工場内外ノ掃除清潔法ハ總テ明治十四年本縣甲第三十七號掃除規則ニ從フヘシ

第七條 汚水拔ハ埋桶又ハ甲蓋アル溝等ヲ以テ近傍惡水路ニ鑿通シ傍地ヲ溼濕スルヲ防クヘシ

第八條 諸物品製造ノ爲メ生スル汚穢物ハ工場近傍ニ置可カラズ他所ニ運送シテ惡臭ノ放散ヲ防クヘシ

第九條 此規則ニ違背シ許可ヲ得スシテ建設シ又ハ衛生官吏警察官吏等ヨリ改制ヲ命スルモ之ニ從ハサルモノハ刑法第四百廿五條第四百廿六條ニ依リ處分セラレクル上縣廳ニ於テ一時營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

○甲第三十七號 明治十五年二月十三日 湯屋營業規則別紙ノ通相定メ候條此旨布達候事

但從前營業ノ者ハ現時ノ浴場圖ヲ添へ所轄警察署へ届出檢査ヲ受クヘシ

本則第四條ニ適合セサル浴場ハ本年中ヲ限リ改制スヘシ

湯屋營業規則

第一條 湯屋及ヒ藥湯ノ營業ヲ爲サント欲スル者ハ第四條以下ノ規程ニ從ヒ所轄警察署ニ届出許可ヲ受クヘシ

但藥湯營業上賣藥規則ニ依ルヘキモノハ其規則ニ從フヘシ

第二條 該營業者ハ甲府市街及接續村落ヲ一組トシ其他宿驛等同業者數名アル場所ハ組合ヲ設ク一組合中取締一名又ハ二名ヲ置キ諸事取締ヲ爲スヘシ

但取締撰擧ノ法ハ一組合中ニテ投票ノ上多數ニ依テ定ムヘシ

第三條 前條ニ依リ取締人ヲ定ムル時ハ其本籍氏名ヲ所轄警察署へ届出ヘシ

但交代ノ節モ本文同様取計フヘシ

第四條 新ニ浴場ヲ建築セントスルモノハ左ノ各項ニ照シ構造スヘシ

但落成ノ上所轄警察署へ届出實地檢査ヲ受クヘシ

一湯壺ハ凡ソ一坪深サ三尺五寸ヨリ小ナラサルヲ要ス且室内ニハ明リ窓及ヒ點燈ヲ設クヘシ

一湯壺ハ男女ヲ異ニシ二箇ノ湯壺ヲ設ク別ニ上リ湯及水溜ヲ設クヘシ

一浴場ノ中央ニ仕切ノ板羽目ヲ設ク男女見透カサ、ル様ニスヘシ

一火焚所ハ石煉化又ハ塗屋ニ築造シ天井ハ土ヲ以テ塗ルカ又ハ不燃質ノモノヲ用ユヘシ

一烟筒ハ煉化石又ハ不燃質ノモノヲ用ヒ烟リノ人家ニ入ラサル様家根上へ高ク出スヘシ

第五條 浴場ハ總テ男女ヲ混同セシムヘカラス

第六條 浴場ハ必ス毎日新ニ汲ミ込ミ上リ湯ヲ設ケ置クヘシ

第七條 浴場内外ノ掃除方ハ總テ明治十四年本縣甲第三十七號掃除規則第十五條ノ旨ニ

○衛生部

四七

○衛生部

從フヘシ

第八條 浴場并二階内等他ニ見透カサル様簾其他ノ物ヲ以テ必ス見隠シテ用ヒ出入口
ヲ明ケ放テ置クヘカラス

第九條 浴場ヲ開テクノ時間ハ適宜クリト雖モ夜間ハ十二時ヲ限リ閉ルヘシ
但烈風ノ節ハ時間ニ拘ハラズ速ニ閉止シ別シテ火ノ元ニ注意スヘシ

第十條 浴客ノ衣類ハ勿論其他品物等紛失セサル様注意スヘシ若シ遺留物又ハ引違ヘク
ル品等アルトキハ品書ヲ見効キ所ニ揭示シ五日間以内ニ事主知レサルモハ警察署ニ
届出ヘシ

第十一條 入浴ノ者無故大聲ヲ發シ或ハ放歌シ且飯場ニ於テ不潔ノ所爲ヲ爲サ、ル様注
意スヘシ

第十二條 此規則ニ違背シタルモノハ刑法第四百二十五條第四百二十七條ニ依リ處分セ
テレケルニ縣廳ニ於テ一時營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

加フ

○甲第百號 明治十五年

本年三月二十七日
本縣甲第三拾七號湯屋營業規則布達但書ニ本則第四條ニ適合セサル浴場ハ本年
中限リ改制スヘト有之候得共同條第一二項中湯壺ノ改造ニ限リ當分其儀ニ及ハス

右布達候事

○甲第貳拾六號 明治十六年

五月三十日
藥舖營業規則別紙ノ通創定ス

但從來營業ノ者ハ試験ヲ要セス鑑札下附スヘキニ付來ル六月三十日迄ニ願出ヘシ

右布達候事

藥舖營業規則

第一條 藥舖ヲ開設シ藥種ノ販賣ヲ業トスルモノハ後ニ示ス書式ニ從ヒ願書及履歷ヲ具
シ郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出テ免許ヲ受クヘシ

但年齡二十歳未滿ノ者ハ之ヲ許サス

第二條 縣廳ニ於テハ左ノ各項ヲ試験シ合格ノ者ニハ免許鑑札ヲ附與スヘシ

一 算術加減乘除

二 注意藥

三 毒藥名稱 羅旬名譯名 用量 一日ノ極量或ハ一度ノ極量 性質 色澤臭味
劇藥 漢名俗名 結晶形狀

三 藥用秤量及液量

右試問科目ハ時宜ニヨリ増減スルコトアルヘシ

第三條 試問不合格ノ者ハ更ニ三ヶ月經過シタル後ニ非ラサレハ再ヒ願出ツルコトヲ許サ
ス

第四條 藥舖營業人死亡其他代替ノ節相續人二十歳未滿ノ者又ハ女子ニシテ自ラ營業ス
ルコト能ハサルモノハ後見人又ハ代理人ヲ立テ營業スルコトヲ許ス

但此場合ニ於テハ後見人又ハ代理人ハ第二條ノ格ニ適合スルモノタルヘシ

第五條 免許藥舖ハ后ニ示ス雛形ニ倣ヒ看板ヲ製シテ店頭ニ掲クヘシ

○衛生部

○衛生部

五十

第六條 免許鑑札ハ讓與貸借スルコトヲ許サズ若シ他管轄へ移轉寄留シ又ハ死亡廢業等ノ節ハ鑑札ヲ返納スヘシ

第七條 水火盜難其他過誤ニヨリ鑑札ヲ毀損シ若クハ遺失シタルトキハ其旨届出テ更ニ附與ヲ請フヘシ又管内限リ轉籍シ或ハ改姓名等ノ節ハ其旨届出テ鑑札書替ヲ請フヘシ

第八條 藥舖ニ於テハ醫師ノ處方箋ヲ持參スルモノニ非サレハ藥劑ヲ調合シテ販賣スルコトヲ許サズ

第九條 醫師ノ處方箋ヲ以テ調劑ヲ求ムルモノアルキハ其處方箋ヲ檢シ醫師并患者ノ住所氏名等正實ト認ムルモノハ之ヲ賣與シ不審ト思量スルトキハ之ヲ謝絶スヘシ

但處方箋ニ據テ賣與シタルトキハ調劑ノ日時及ヒ其受取人ノ住所氏名ヲ處方箋ニ記入シテ之ヲ保存スヘシ

第十條 醫師ノ處方箋ニ據テ調劑スルトキハ其分量ヲ誤ラサル様注意スヘシ若シ處方箋中毒劇藥等ヲ配伍シ其分量通常ヨリ超過スルモノト思量スルトキハ該醫師ニ質問セシメタル上調劑スヘシ

第十一條 藥品ハ必ズ精製善良ノ品類ヲ撰ミ粗製ノモノ又ハ贗敗品等販賣ス可カラズ

第十二條 前各條ノ規則ニ背キタルモノハ刑法第四百二十六條ニ依リ處分セラレタル上縣廳ニ於テ其營業ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

藥舖營業廳

何郡何町何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何町何番戶)

士族或ハ平民

何年何ヶ月

右

何 誰

右町衛生委員

何 誰

右町戶長

何 誰

縣令宛

藥舖營業繼續廳

何郡何町何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何町何番戶)

士族或ハ平民

何年何ヶ月

何

誰

私先代何某儀何年何月中ヨリ藥舖營業仕來候處何年何月隱居(死亡又ハ何々)致シ候ニ付私儀家督相續仕候得共幼弱(女子)ニ付何某ヲ以テ營業上後見人(代理人)ト致シ藥舖營業繼續仕度候間御許可被成下度右後見人(代理人)履歷書相添此段奉願候也

○衛生部

五一

○衛生部

年號月日

右

何

誰

(後見人)

何郡何村何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何村何番戶)

士族或平民

親類

全上

何

誰

右町衛生委員

何

誰

右町戶長

何

誰

縣令宛
履歷書

何郡何村何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何村何番戶)

士族或平民

(何某後見人或代理代)

何年何月

一年號何年何月ヨリ父祖(或)(先雇主何某)何國何所藥舖何某ニ從ヒ年號何年何月迄何ケ年間(漢)藥品取扱或ハ物理化學藥物處方學等修業右之通相違無之候也

年號何年何月

右

何

誰

右町衛生委員

何

誰

右町戶長

何

誰

看板雛形
長官宛

免許藥舖

豎曲尺三尺 横曲尺七寸五分

○甲第二十七號 明治十六年五月三十一日

鑛泉浴場開業規則別紙ノ通制定ス

但從來開業ノ分ハ第一條ニ依リ來ル六月三十日迄ニ更ニ取調可届出若シ調査ノ上妨

害アリト認ムルモノハ改正セシムルコトアルヘシ

右布達候事

○衛生部

○衛生部

年號何年何月

右

何

誰

(後見人)

何郡何町何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何町何番戶)

士族或平民

親類

全上

何

誰

右町衛生委員

何

誰

右町戶長

何

誰

縣令宛
履歷書

何郡何町何番戶住居(寄留)

(何縣何國何郡何町何番戶)

士族或平民

(何某後見人或代理代)

何年何月

一年號何年何月ヨリ父祖(或)(先屋主何某)何國何所藥舖何某ニ從ヒ年號何年何月迄何ヶ年間(漢)藥品取扱或ハ物理化學藥物處方學等修業
右之通相違無之候也

年號何年何月

右

何

誰

右町衛生委員

何

誰

右町戶長

何

誰

看板雛形
長官宛

免許藥舖

豎曲尺三尺 横曲尺七寸五分

○甲第二十七號 明治十六年 五月三十一日

鑛泉浴場開業規則別紙ノ通創定ス

但從來開業ノ分ハ第一條ニ依リ來ル六月三十日迄ニ更ニ取調可届出若シ調査ノ上妨

害アリト認ムルモノハ改正セシムルコトアルヘシ

右布達候事

○衛生部

鑛泉浴場開業規則

第一條 鑛泉浴場ヲ建設シ營業セシムルモ、左ノ各項ヲ具シタル書面ニ原泉ヲ添

〜郡役所ヲ經テ縣廳ヘ願出ツ〜

但原泉ハ凡壹升ニ合餘ヲ玻璃瓶、數瓶ニ分チ入ル、モ妨ケナシ、ニ汲取り直チニ密栓ヲ爲シ封蠟又

ハ目張ヲナス〜

一 鑛泉發出ノ郡村及ヒ字并地種

一 發見ノ年月、古昔ノ發見ニ係ルモノハ、及ヒ從來稱スル處ノ効能、成分ヲ試験シタルモノハ其試験書ヲ添、鑛泉ノ名稱、及ヒ從來稱スル處ノ効能、成分ヲ試験シタルモノハ其試験書ヲ添

一 浴場建設ノ位置敷地ノ坪數及其圖面、近隣建物ノ景況并周圍山川ノ形狀ヲ記ス〜

一 同構造ノ模範建物ノ坪數及其圖面

一 湯壺ノ坪數及其圖面

一 火温ヲ用ユルモノハ竈構造ノ方法

一 浴場規則、浴客取扱向并取

第二條 縣廳於テハ鑛泉ノ成分浴場ノ構造土地ノ景況等調査シ不都合ナキ者ト認ムルキハ開業ヲ許可ス〜

ハ開業ヲ許可ス〜又已ニ開業許可ヲ受ケタル後該構造ヲ變更セントスルトキハ伺出テ許可ヲ得〜

但小部分ニ係ルモノハ伺出ニ及ハスト雖モ臨時檢査ノ際不都合ノ廉アルトキハ改造セシムルコトアル〜

第三條 浴場ノ構造ハ大略左ノ式ニ從フ〜

一 湯壺ハ男女ノ區畫ヲ設ケ相見透ヌヲ得サラシム〜

二 浴室ニハ明リ窓ヲ設ケ且空氣ノ流通ヲ善クス〜

三 浴室及湯壺ノ廣狹ハ便宜ニ從フ〜雖モ堅牢清潔ニ構造ス〜

四 火温ヲ用ユルモノハ構造ハ明治十五年甲第三十七號布達湯屋營業規則第四條第四項

第五項ノ式ニ從フ〜

第四條 夜間ハ必ス浴室内ニ點燈ス〜

第五條 男女混同シテ入浴セシム可ラス但介抱ヲ要スル者及十歳未滿ノ幼者ハ此限ニ非

第六條 亂醉又ハ狂癡人ト認ムルモノハ其入浴ヲ謝絶ス〜又老幼及病者等身體ノ自由

ヲ爲シ得サルモノハ附添人アルニ非サレハ入浴ヲ謝絶ス〜

第七條 浴室内外ノ掃除方ハ總テ明治十四年本縣甲第三十七號布達掃除規則第十五條ノ

旨ニ從フ〜

第八條 此規則ニ違背シ又ハ衛生官吏警察官吏等ヨリ改正ヲ命スルモノニ從ハサルモノ

若シハ許可ヲ得ス〜營業スルモノハ刑法第四百二十五條第四百二十六條第四百二十七

條ニ據リ處分セラレタル上縣廳ニ於テ營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアル〜

○甲第四十九號 明治十六年九月十二日

明治十三年(八月)甲第百拾五號布達ヲ廢シ更ニ私立病院設置規則別紙ノ通之ヲ定ム

但從前既設ノ私立病院ハ此規則ニ據リ來ル十一月卅日限リ更ニ出願許可ヲ受ク〜

右布達候事

私立病院設置規則

第一條 私立病院一人或ハ數人ノ私財ヲ以テ設置セントスルモノハ后ニ示ス書式ニ從

ヒ左ノ諸項ヲ具シ所轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出許可ヲ受クヘシ

一 設置ノ位地

二 名稱

三 院則

四 院長已下醫員履歷

但醫術開業証ヲ所持スルモノハ其寫ヲ添付スヘシ

五 院長已下醫員給料

但シ一人或ハ數人ノ醫師結社設立ニテ給料ヲ不定モノハ記スルニ及ハス

六 院費出納ノ豫算

第二條 私立病院ハ必ラス左ノ醫員ヲ備フヘシ

院長

診察醫

調劑生或ハ助手ノ類

第二條 第一條ノ院則ヲ改正セントスルトキハ更ニ伺出テ許可ヲ受クヘシ其他同條ノ各

一人

二人已上

三人已上

院長及診察醫ハ醫術開業免許証ヲ有スルモノニ限ル

明治十七年甲第二號ヲ以テ第三條但書ヲ削除

項ニ變更アルトキハ其都度届出ヘシ

第四條 私立病院ヲ廢止シ又ハ其業務ヲ休停(定例休)スルトキハ其旨所轄郡役所ヲ經テ

縣廳ニ届出ヘシ

第五條 此規則ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿六條ニ據リ處分セララルヘシ

第六條 前條ノ處分ヲ受ケタルトキ又ハ其業務ニ關シ不正ノ所爲アリト認ムルトキハ縣

廳ヨリ其病院閉止ヲ命スルコアルヘシ

私立病院設立願書式

一 私立病院位置

何郡何町何番地

一名稱

私立何々病院

一 院則

患者診察ノ手續入院料藥價診察料差等ノ類

一 院長以下醫員履歷

何某ニ從ヒ何科修業何々醫學學校卒業何月日開業免許狀受領或ハ何地ニ於テ醫術開業

及官途出身賞罰等ノ類

一 院長以下醫員給料

院長(一)ヶ月(金)何圓

○衛生部

○衛生部

何々ヶ月金何圓

一院費出納豫算

何々ヶ月出納ノ見積概略

右之通設立仕度此段奉願候也

何郡何町何番戸住居(寄留)

(何縣何國何郡何町何番戸)

華族或ハ平民

何職何業

何 誰印

右町衛生委員

何 誰印

右町戸長

何 誰印

設立人居住地ト病院設立地ト異ナルトキハ
設立地ノ戸長衛生委員ニ於テ連署スヘシ

山梨縣令何誰殿

○甲第三十三號 明治十七年 五月廿二日

明治九年甲第百六拾號布達病院規則ヲ廢シ更ニ病院診療規則別紙ノ通之レテ定ム
右布達候事

山梨縣病院診療規則

第一條 縣立本分病院ハ汎シ患者ノ請ヒニ應シ其疾病ヲ診療ス

第二條 外來患者ノ診察ハ每日午前八時ヨリ正午十二時ヲ限リ投劑ハ調合ハ午前八時ヨリ午後二時限トス

但急病又ハ大患者ハ此限ニアラス

第三條 外科手術ハ毎土曜日ニ於テ之レヲ施ス

但急施ヲ要スルモノ又ハ小手術ハ臨時之ヲ行ナフ

第四條 外來患者ノ診察ハ患者參院ノ順序ニ依ル

但急病或ハ大患又ハ公務ヲ帶タル者ハ此限ニ非ラス

第五條 大患又ハ急病等ニシテ參院シ難キモノハ往診ヲ請フヲ得

第六條 入院ヲ請フモノハ親戚故舊二名以上身元引受人ヲ要ス

但輕症ニシテ入院ヲ要セサルカ若クハ入院セシメ難キ病症ト認ムルトキハ之ヲ許ササルコアルヘシ

第七條 入院患者ハ病院ノ看護人ナシテ看護セシム

第八條 入院患者ノ親戚故舊等付添看護ヲ請フモノアルトキハ一患者ニ付二名ヲ限リ許

可スヘシ

第九條 病室ハ甲乙二區ニ別チ甲ハ一室一名トシ乙ハ一室二名以上ヲ容ル、モノトス

第十條 病院ノ治療ヲ受クルノ間ハ妄ニ他醫ノ治療ヲ受ケ又ハ賣藥ヲ用ユルコヲ許サス

○衛生部

五九

○衛生部

若シ他醫ノ治療ヲ受ケ又ハ賣藥ヲ用ユルモノアルトキハ病院ハ治療ヲ施サ、ルコアル

第十一條 病院ハ診察料往診料手術料入院料藥價診斷書又ハ處方箋手数料ヲ收納ス
診察料往診料手術料入院料藥價診斷書處方箋手数料ハ病院內ニ揭示スル定則ニ從ヒ納
付スヘシ

但診察料ハ當分他府縣ノ者ニ限リ收納ス

○甲第三拾六號 明治十七年
六月十日
牛馬醫營業規則別紙之通創定ス

但從前營業ノ者ハ試験ヲ要セス假免許鑑札下付候條本月三十日限管轄郡役所ヲ經テ願
出ヘシ

右布達候事

牛馬醫營業規則

第一條 牛馬醫ヲ營業セントスルモノハ別紙第一号第三号書式ニ據リ願書及履歷書ヲ具
シ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出ヘシ

但官立府縣立學校ニ於テ獸醫學卒業証ヲ所持スルモノハ此限ニ非ス

第二條 前條出願ノ者ハ左ノ科目ヲ試験シ合格ノ者ニハ免許鑑札ヲ附與スヘシ

試問科目

一 牛馬管理法 飼養法、使役法、馬屋ノ構造法等ノ大意

一 牛馬治療法ノ大意

一 牛馬傳染病豫防法ノ大意

第三條 試問不合格ニシテ免許ヲ得サルモノハ更ニ三ヶ月ヲ經過シテ再
願スルヲ許サズ

第四條 免許鑑札ハ他人ニ讓リ渡シ又ハ貸與スルヲ許サズ

第五條 他管ニ轉籍寄留又ハ廢業死亡等ノ節ハ免許鑑札ヲ返納スヘシ

管内轉籍又ハ改姓名其他鑑札面ニ變更ヲ來シタルキハ鑑札書換ヲ請フヘシ

但シ他郡ニ轉籍スル等ノ場合ニ於テハ從前居住地ノ管轄郡役所ニモ其旨届出ヘシ

水火盜難又ハ過誤ニ依リ免許鑑札ヲ遺失シ或ハ毀損シタルハ更ニ鑑札ノ附與ヲ請フ

第六條 管内限出寄留ニ係ル居住地ノ變更ハ前條第二項ノ書換ヲ請フニ及ハス但シ此場
合ニ於テハ左ノ手續ニ依リ届出ヲナスヘシ

一 甲郡ヨリ乙郡ニ出寄留ノモノハ其旨甲郡役所ニ届出猶乙郡役所ヲ經テ縣廳ニ届出ヘ
シ

一 乙郡ヨリ甲郡ニ出寄留スルモノハ其旨縣廳ニ届出ヘシ

第七條 牛馬ノ傳染病ヲ診斷シタルトキハ速ニ病牛馬所在地ノ衛生委員ニ届出ヘシ

但シ本條ノ場合ニ於テハ畜主ニ諭シテ豫防法ヲ施サシムヘシ

第八條 牛馬ノ疾病其地方民間ニ行ハルニ管理法ノ不良ニ原因タルモノト認ムルトキハ

衛生部

六二

○衛生部

若シ他醫ノ治療ヲ受ケ又ハ賣藥ヲ用ユルモノアルトキハ病院ハ治療ヲ施サ、ルコアル
ヘシ

第十一條 病院ハ診察料往診料手術料入院料藥價診斷書又ハ處方箋手数料ヲ收納ス
診察料往診料手術料入院料藥價診斷書處方箋手数料ハ病院内ニ揭示スル定則ニ從ヒ納
付スヘシ

但診察料ハ當分他府縣ノ者ニ限り收納ス

○甲第三拾六號 明治十七年
六月十日

牛馬醫營業規則別紙之通創定ス

但從前營業ノ者ハ試験ヲ要セス假免許鑑札下付候條本月三十日限管轄郡役所ヲ經テ願
出ヘシ

右布達候事

牛馬醫營業規則

第一條 牛馬醫ヲ營業セントスルモノハ別紙第一号第三号書式ニ據リ願書及履歷書ヲ具
シ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出ヘシ

但官立府縣立學校ニ於テ獸醫學卒業証ヲ所持スルモノハ此限ニ非ス

第二條 前條出願ノ者ハ左ノ科目ヲ試験シ合格ノ者ニハ免許鑑札ヲ附與スヘシ

試問科目

一 牛馬管理法(飼養法、使役法、馬屋ノ構造法等)ノ大意

一 牛馬治療法ノ大意

一 牛馬傳染病豫防法ノ大意

第三條 試問不合格ニシテ免許ヲ得サルモノハ更ニ三ヶ月ヲ經過シタル后ニ非サレハ再
願スルヲ許サズ

第四條 免許鑑札ハ他人ニ譲リ渡シ又ハ貸與スルヲ許サズ

第五條 他管ニ轉籍寄留又ハ廢業死亡等ノ節ハ免許鑑札ヲ返納スヘシ

管内轉籍又ハ改姓名其他鑑札面ニ變更ヲ來タシタルキハ鑑札書換ヲ請フヘシ

但シ他郡ニ轉籍スル等ノ場合ニ於テハ從前居住地ノ管轄郡役所ニモ其旨届出ヘシ

水火盜難又ハ過誤ニ依リ免許鑑札ヲ遺失シ或ハ毀損シタルキハ更ニ鑑札ノ附與ヲ請フ
ヘシ

第六條 管内限出寄留ニ係ル居住地ノ變更ハ前條第二項ノ書換ヲ請フニ及ハス但シ此場
合ニ於テハ左ノ手續ニ依リ届出ヲナスヘシ

一 甲郡ヨリ乙郡ニ出寄留ノモノハ其旨甲郡役所ニ届出猶乙郡役所ヲ經テ縣廳ニ届出ヘ
シ

一 一郡内甲(町)ヨリ乙(町)ニ寄留スルモノハ其郡役所ヲ經テ其旨縣廳ニ届出ヘシ

第七條 牛馬ノ傳染病ヲ診斷シタルトキハ速ニ病牛馬所在地ノ衛生委員ニ届出ヘシ

但シ本條ノ場合ニ於テハ畜主ニ諭シテ豫防法ヲ施サシムヘシ

第八條 牛馬ノ疾病其地方民間ニ行ハル、管理法ノ不良ニ原因スルモノト認ムルトキハ

○衛生部

○衛生部

ノニテ箇條ニ變更ナキモノハ之レヲ記スルニ及ハス

六四

第一項

- 一 料水引入レ又ハ汲取場所ノ地名
- 一 製造所ノ地名及構造
- 一 貯藏所ノ地名及構造
- 一 前三ヶ所ノ摸樣ヲ見ルヘキ圖面

第二項

- 一 貯藏所ノ地名及構造
- 一 採水場所ノ地名
- 一 前三ヶ所ノ摸樣ヲ見ルヘキ圖面

第三條

検査士料水又ハ現水ノ成分人身ニ害アリト認ムルカ或ハ製造所貯藏所ノ構造不適當ト認ムルトキハ採水並ニ料水汲取等ノ場所替テ命シ又ハ製造所貯藏所ノ構造ヲ變換セシムルヲアルヘシ

已ニ認可シタルモノト雖モ更ニ料水現水ノ不良貯藏所製造所ノ不適當ナルコトヲ發見スルトキハ製造貯藏ヲ停止シ現水ヲ投棄セシムルヲアルヘシ

第四條

第一條ニ依リ認可ヲ得タル製水又ハ貯藏天然水ヲ發賣スルトキハ更ニ發賣免許証ヲ願受シヘシ但願書ニ發賣ノ量ヲ明記シ且現水凡ニヲ添付スヘシ天然水ヲ貯藏セシメテ直ニ發賣スルモノモ亦前項ニ準據スヘシ但書而ニ採水場ノ地名

ヲ併記スヘシ

第五條 他管廳ニ於テ發賣ノ許可ヲ得タル水ヲ本管内ニ於テ發賣セントスルトキハ前條ニ準據シ免許証ヲ願受シヘシ

本縣ノ發賣免許証ヲ所持スルモノ、水ヲ請卸賣セントスルモノハ書面ニ發賣人ノ住處姓名ヲ明記シテ届出ヘシ

第六條 發賣者請卸賣者請小賣ヲナス者ハ后ニ示ス第一號第二號第三號雖形ノ看板ヲ店頭ニ掲シヘシ若シ自カラ行商シ又ハ雇人等ヲシテ行商セシムルトキハ第四號雖形ノ木標ヲ行商具ニ表付スヘシ

第七條 發賣所並ニ請賣所ハ時々衛生官又ハ警察官ヲシテ巡視セシムヘシ巡視ノ際若シ不良ノ水ト認ムルトキハ其發賣請賣ヲ禁止シ現水ヲ投棄セシムルヲアルヘシ

第八條 發賣免許証ハ一期甲年十二月ヨリ限リ効アルモノトス此期限ヲ過シルトキハ直ニ返納スヘシ

第九條 本則ニ依リ差出ス願書及届書ハ總テ管轄郡役所ヲ經由スヘシ

第十條 第一條第四條第五條第六條第八條ニ違背シタルモノハ刑法四百二十六條ニ依リ處分セラレタル上製造、貯藏、發賣、請賣、ヲ停止又ハ禁止スルヲアルヘシ

○衛生部

六五

○衛生部

ノニテ箇條ニ變更ナキモノハ之レヲ記スルニ及ハズ

六四

第一項

- 一 料水引入レ又ハ汲取場所ノ地名
- 一 製造所ノ地名及構造
- 一 貯藏所ノ地名及構造
- 一 前二ヶ所ノ摸樣ヲ見ルヘキ圖面

第二項

- 一 貯藏所ノ地名及構造
- 一 採水場所ノ地名
- 一 前二ヶ所ノ摸樣ヲ見ルヘキ圖面

第三條

検査上料水又ハ現水ノ成分人身ニ害アリト認ムルカ或ハ製造所貯藏所ノ構造不適當ト認ムルトキハ採水並ニ料水汲取等ノ場所替テ命ジ又ハ製造所貯藏所ノ構造ヲ變更セシムルコトアルヘシ

己ニ認可シタルモノト雖モ更ニ料水現水ノ不良貯藏所製造所ノ不適當ナルコトヲ發見スルトキハ製造貯藏ヲ停止シ現水ヲ投棄セシムルコトアルヘシ

第四條

第一條ニ依リ認可ヲ得タル製水又ハ貯藏天然水ヲ發賣スルトキハ更ニ發賣免許証ヲ願受クヘシ但願書ニ發賣ノ量ヲ明記シ且現水(凡ニ)ヲ添付スヘシ
天然水ヲ貯藏ヒラシメテ直ニ發賣スルモノモ亦前項ニ準據スヘシ但書面ニ採水場ノ地名

ナ併記スヘシ

第五條 他管應ニ於テ發賣ノ許可ヲ得タル水ヲ本管内ニ於テ發賣セントスルトキハ前條ニ準據シ免許証ヲ願受クヘシ

本縣ノ發賣免許証ヲ所持スルモノ、水ヲ請御買セントスルモノハ書面ニ發賣人ノ住處姓名ヲ明記シテ届出ヘシ

第六條 發賣者請御買者請小賣ヲナス者ハ后ニ示ス第一號第二號第三號雖形ノ看板ヲ店

頭ニ掲シヘシ若シ自カズ行商シ又ハ雇人等ヲシテ行商セシムルトキハ第四號雖形ノ木標ヲ行商具ニ表付スヘシ

第七條 發賣所並ニ請賣所ハ時々衛生官又ハ警察官ヲシテ巡視セシムヘシ巡視ノ際若シ

不良ノ水ト認ムルトキハ其發賣請賣ヲ禁止シ現水ヲ投棄セシムルコトアルヘシ

第八條 發賣免許証ハ一期(甲年十二月ヨリ)限リ効アルモノトス此期限ヲ過シルトキハ直チニ返納スヘシ(乙年十一月マテ)

第九條 本則ニ依リ差出テ願書及届書ハ總テ管轄郡役所ヲ經由スヘシ

第十條 第一條第四條第五條第六條第八條ニ違背シタルモノハ刑法四百二十六條ニ依リ處分セラレタル上製造、貯藏、發賣、請賣、ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

○衛生部

六五

○衛生部

第壹號 曲尺二尺五寸以下之レニ同シ

製水 請小卸賣所

天然水 何郡何町何番地 某

川石

製水天然水ヲ共ニ販賣スルモノハ此文字

ヲ兩存シ別ニ看板ヲ製スルニ及ハス卸賣

小賣ヲ兼ルトキモ此例ニ依ルヘシ

第貳號

製水 請小卸賣所

天然水 何郡何町何番地 某

第肆號

曲尺八寸

製水 請小卸賣人

天然水 請小卸賣人

何郡何町何番地 何某

川石

第貳號

製水 請小賣所

天然水 何郡何町何番地 某

○甲第四號 明治十五年一月十二日

從前管内非常豫備金ノ稱ヲ改メ管内共有儲蓄金トシ取扱規則縣會諮問ノ上別紙ノ通相定候條此旨布達候事

管内共有儲蓄金取扱規則

第一條 從前管内非常豫備金ノ稱ヲ改メテ共有儲蓄金トス

第二條 共有儲蓄金ハ左ノ方法ニ從テ儲蓄スヘシ

一 現金ハ確實ナル抵當ヲ要シ銀行又ハ會社等ニ預ケ其利息ヲ收ム

但身元正實ニシテ抵當確實ト認ムルトキハ銀行又ハ會社ニ非スト雖トモ貸付スルコトアルヘシ

一時宜ニ依リ其幾分ヲ公債証書ニ交換ス

一 前二項ヨリ生スル利息ハ之ヲ元資金ニ編入ス

第三條 共有儲蓄金ハ管内ノ公益ニ關スル事業又ハ慈善ニ關スル事件ニ付特ニ要スル費途ニ充ツルモノトス其概目左ノ如シ

一 水陸運輸ノ便ヲ策ル事業

一 窮民教育ノ事業

第四條 儲蓄金ノ内へ金員若シハ其他ノ物件ヲ寄附スル者アレハ之ヲ許シ金員ハ元資金ニ編入シ物件ハ之ヲ保存シ或ハ賣却シテ元資金ニ編入スヘシ

第五條 第三條ノ事業ノ興廢及其經費ノ豫算ハ縣會ノ決議ヲ以テ執行スルモノトス又第

○出納部

六七

○出納部

三條概目ノ外猶要用ナル事件アルトキハ縣會ノ決議ヲ以テ之ヲ加フヘシ
 第六條 第二條第一項第二項ノ取扱ヲ爲シ及第四條ノ物件ヲ賣却シ第五條縣會ノ議決ヲ
 執行スル順序ハ常置委員ニ諮問スルモノトス
 第七條 共有儲蓄金ノ監守及出納等ハ縣廳ニ於テ之ヲ管理ス
 第八條 縣廳ニ於テハ毎年七月ニ至リ前一周年度間儲蓄金ノ増減及ヒ出納ヲ精算シテ管
 丙ニ布達シ且翌年通常縣會ニ報告スヘシ

○第三拾九號 明治十六年七月七日

明治十五年甲第八拾貳號布達備荒儲蓄金穀収出規則別紙之通改定本月一日ヨリ施行ス
 右布達候事

備荒儲蓄金穀収出規則

第一章 徵収

第一條 公儲金ノ徵収額ハ毎年縣會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムヘシ
 第二條 公儲金ハ毎年七月ヨリ十二月迄ニ其年度ニ係ル全額ヲ徵収スヘシ
 第三條 災害ニ罹リ救助及補助貸與ヲ受ケタルモノハ其年度ニ該ル徵収ヲ免除ス
 但シ既ニ徵収シタルモノハ此限ニ非ス
 第四條 公儲金不納者處分又ハ徵収免除等ニヨリ政府配付ノ金額ヨリ不足ヲ生スルトキ
 ハ翌年縣會ノ議定ニ依リ追徵スヘシ

第二章 儲蓄

儲蓄

第五條 儲蓄金穀ハ左ノ各項ニ從ヒ之ヲ管理スヘシ

- 一 現金ハ縣廳爲換方ニ命シテ管守セシム
- 但其幾分ヲ確實ナル抵當ヲ要シ定期預ト爲スコトアルヘシ
- 二 公債証書ハ縣廳内ニ保藏スヘシ
- 三 米穀ハ甲府又ハ其最寄ニ於テ一箇所及南北都留郡ノ内ニ於テ一箇所藏儲スルモノトス

但シ逐年穀數ノ増加スルニ隨ヒ漸次各地ニ分儲スヘシ

第六條 儲蓄金ヲ以テ公債証書ニ交換シ及米穀ヲ購入シ其他救助補助貸與ノ金額並第十
 五條ニ係ル費額ハ毎年縣會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第七條 米穀ノ儲蓄ハ粗貳万石ヲ以テ定度トシ秋穫ノ景況ニヨリ前年分ヨリ漸次新陳交
 換スヘシ

第八條 救助補助貸與等ノ金額豫算ヨリ超過スルトキハ公債証書ヲ賣却シテ之ニ充ツ若
 シ實際ノ費用豫算ヨリ減少シタルトキハ其餘剩ニ屬スル分ハ翌年度ニ至リ米穀ヲ購入
 シ又ハ公債証書ニ交換スヘシ

第九條 流行病又ハ其地ノ事變ニ依リ運輸ノ道絶ヘ食料ノ關乏ヲ致スコトアルハ儲蓄
 穀ヲ發賣スルコトアルヘシ

但此場合ニ於テハ一ケ年以内ニ更ニ購入充備スヘシ

第三章 救助

○出納部

明治十七年甲第八號ヲ以テ第八條ニ至リノ下米穀ヲ購入シ又ハノ入字ヲ追加

○出納部

七十

- 第十條 水災風震等ノ災害ニ遭ヒ家屋蕩燼流亡シ或ハ流行病ニ罹リ現ニ生活ニ困窮スル者ハ其實況ヲ調査シ罹災ノ輕重ニ依リ左ノ制限ニ依テ救助スヘシ
- 一 食料ハ男一人一日玄米三合女一人一日玄米二合ノ割ヲ以テ三十日以内之ヲ給ス但七十歳以上十三歳以下ノ者ハ男ト雖ヒ女ノ割合ヲ以テ給ス
 - 二 小屋掛ヲ營ムコト能ハサルモノニハ小屋掛料一戸金拾圓以内ヲ給ス但借家又ハ同居ノモノハ此限ニ非ス
 - 三 農具料ハ其地ノ耕作ニ欠クヘカラサル必用ノ器物ニ限リ其代價ヲ給與ス但シ其金額一戸拾圓以内トス
 - 四 種穀料ハ耕作ノ反別ニ應シ之ヲ給ス但其金額一戸拾圓以内トス
- 第十一條 非常ノ凶荒ニ遭ヒ凍餒飢餓ニ迫リ自ラ生存スル能ハサルモノハ前條第一項ノ例ニ依リ之ヲ救助スヘシ
- 第十二條 罹災ノ爲メ地租ヲ納ムルコト能ハサル者ハ災害ノ輕重ヲ參酌シ其地租ヲ補助又ハ貸與スヘシ
- 第十三條 地租ノ貸與ハ三ヶ年以上十ヶ年以内無利息年賦返納ノ約ヲ以テスヘシ若シ其返納年期中ニ在テ再ヒ不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルモノハ其罹災ノ實況ニヨリ返納ヲ猶豫シ又ハ免除スルコトアルヘシ
- 第十四條 連村連市一時ニ暴災ニ罹リ現ニ凍餒ニ迫ル者ハ十日以内焚出米ヲ給與シ及其災害ノ景況ニ依リ假ニ小屋掛ヲ營ミ一時ノ急ヲ救濟スルコトアルヘシ但本條ノ給與ハ

第十條ノ制限内ヲ以テ之ヲ支給ス

第四章 雜則

- 第十五條 米穀並公債証書ノ賣買及倉庫ニ係ル諸費其他救助ノ取扱ニ關スル費用ハ儲蓄金ノ内ヨリ支辨スヘシ
- 第十六條 儲蓄金ノ出納精算ハ翌年通常縣會ニ報告スヘシ

○雜部

○甲第六十六號 明治十年 二月廿六日

縣會傍聽規則別紙之通相定候條此旨布達候事

縣會傍聽規則

第一條 傍聽ヲ望ム者ハ當日午前第八時迄ニ議場ノ受付所ニ至リ族籍等詳記シタル名刺ヲ差出スヘシ

但定刻ヨリ遲參シタル者又ハ定刻内ト雖モ人員ノ都合ニヨリ其日ノ傍聽ヲ許サハルコトアルヘシ

第二條 受付所ニ於テハ參場ノ順序ニ從ヒ鑑札ヲ渡スヘキニ付之ヲ受取ル者ハ扣所ヘ著席スヘシ

但本文鑑札ハ退出ノ節返付スヘシ

第三條 開場ノ號鐘ヲ聞カハ議場ニ進ミ各自所持スル鑑札同番號ノ席ニ着クヘシ

第四條 議場ニ入ラハ帽ヲ脱シ議長着席ノ時ハ起テ禮ヲナスヘシ

第五條 議事中心ハ故ナシ退席ナルヲ得ス不得止事故アル時ハ詰合警部ニ告テ退出スヘシ

第六條 議事中ハ沉默敬聽スルヲ要ス欠伸私語吸煙飲食シ及ヒ議場ヲ往復散步スル等ノ事一切之ヲ禁ス

第七條 扣所タリ共高談笑語又ハ爭論シ及ヒ議員ノ論說ヲ毀譽論評スル等ノ事一切之ヲ禁ス

第八條 前條ノ規則ヲ犯シ之ヲ制スルモ用ヒサレハ警部ニ付シテ處置セムヘシ

○甲第貳百八十三號布達 明治十年 十月十九日

明治七年甲第十四號及ヒ同年甲第五十一號布達鄉村社規則別紙ノ通改正候條此旨布達候事

改鄉村社規則

第一條 郷社ハ幾社アルトモ一區内ニ就キ祠官一人ヲシテ兼務セシメ該區村社祠掌ヲ兼シムヘシ其社頭取締并營繕掃除等ハ祠官氏子協議方法ヲ設ク區戶長ノ承認ヲ得テ施行スヘシ

但月給支給スヘキ目途有之村社ハ別段祠掌ヲ置クモ妨ケナシ

第二條 祠官ノ給料ハ該社氏子ヨリ支給スヘキモノトス其給額素ヨリ各區一定シ難シト雖モ凡一ヶ月金五圓ヨリ三圓迄ヲ目的トシ議定ノ上届出ヘシ

第三條 祭典ハ舊例ヲ追ヒ執行スヘシ

但祭典執行ノ節ハ其受場ノ警察署又ハ分署ヘ届出ツヘシ

第四條 郷村社營繕費并ニ祭典料ハ氏子又ハ信仰者ノ寄附金等ニテ支辨スヘシ

第五條 神器其外寶什物ハ毎年一度祠官區戶長氏子總代立會目錄ニ照シ調査ノ上相違ナキニ於テハ封印シ從前ノ手續ヲ以倉庫ニ納ムルカ又ハ區戶長役場ヘ預ケ置クヘシ

第六條 賽物ハ一社限リ祠官區戶長氏子總代立會月々取纏メ祭典其他一切ノ社費ニ充ツヘシ

第七條 神官轉免新任ノ節ハ任免ノ當日ヨリ十日間ニ新舊神官氏子總代區戶長立會神器

○雜部

明治十年 甲第貳百 九十四號 三條但書 ヲ追加

○雜部

明治十四年
甲第百十七號
第九條改正

其外目錄帳ニ照シ受渡シテ其旨届出ツヘシ
第八條 神官ノ職務ハ兼テ公布ノ神官奉務規則ニ依遵シ其他時々布達ノ通相心得ヘシ
第九條 各鄉村社ハ氏子中(氏子ナキモ)相應ノ財産ヲ有シ衆望ノ歸スルモノヨリ惣代人
三名以上相撰シ其町村役所へ届出置今後該社ノ願届等ハ揮テ連署ヲ以差出スヘシ又社
収入財産(田畑山林ノ所得ハ勿論賽物所ノ福料等一切ノ受納モノナク)其共有ニ屬スヘキモノト神官ニ付スルモノト
ノ豫約適宜相定置平素混亂セサル様取締方致スヘシ
但雜社モ本條ニ準ス且惣代人ハ該社氏子又ハ信徒一同ニテ公撰スヘキモノトス

○甲第拾九號
明治十二年
一月廿一日

別紙條件處分方郡長ハ殊ニ委任候條郡役所開廳後右ニ係ル願伺書等ハ郡長宛ヲ以テ該役
所へ可差出此旨布達候事

郡長委任條件

明治十四年
甲第百三十四號
第一條改正

第一條 郡書記以下吏員及町村立學校職員并町村戸長學務委員衛生委員ノ旅行又ハ病氣
療養願ヲ處置シ及除服出任ヲ命スル事

第二條 (明治十二年甲第八十二號ヲ以テ削除)

第三條 無籍人編籍願ノ事

但刑ニ觸ル、モノハ此限ニ非ス

第四條 改姓名願事

明治十三年
甲第五

第五條 分家及亡跡再興願ノ事

十一號ヲ
以テ第五
條但書ヲ
加フ

但兵員ニ係ル者ハ此限ニ非ス

第六條 士族隱居并家督相續願ノ事

第七條 町村役所位置變換ノ事

第八條 社寺所有地質入書入願ノ事

第九條 社寺所有地ノ樹木伐採并境内下草刈取願ノ事

第十條 縣社以下社寺堂宇毀損ノ節處分ノ事

第十一條 縣社以下神社寺院修築願ノ事

第十二條 船車ニ關スル左ノ各項ノ事

一 免稅船及諸事檢印ノ事

一 有稅船鑑札下付ノ事

一 舟車賣買讓渡ノ事

第十三條 賣藥營業願ノ外國稅ニ係ル營業願ノ事

第十四條 (明治十六年告第三十壹號ヲ以テ削除)

第十五條 (明治十六年告第百七號ヲ以テ削除)

第十六條 返納金借地料等徵收ノ事

第十七條 諸興行願ノ事

第十八條 官有地ノ苗類及ヒ木實等賣却ノ事

第十九條 地租代米納願ノ事

○雜部

明治十六年
告第百六號
第九條改正

削除
削除

テ第四十
九條ヲ追
加

○雜部

明治十四
年甲第百
三十四號
ヲ以テ第
五十條ヲ
追加

第五十條 備荒儲蓄金徵收及不納者處分ノ事
第五十一條 民有地ノ地所分裂合併願處分ノ事
第五十二條 民有地々目變換願處分ノ事
○甲第百三十壹號 明治十三年九月十七日
町村伍組編制法別紙之通改定候條此旨布達候事

町村伍組編制法

甲第十五
年全第十
條ヲ以テ
第五十一
號ヲ追加
一號ヲ以
テ第五十
二條ヲ追
加

第一條 伍組ハ戶長ニ於テ町村ノ便宜ヲ掛リ戶數五戶以上貳拾戶以內ヲ以テ編制シ郡長ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムヘシ
第二條 伍組ハ家并番號ノ順序ニ從テ編制スヘシ但町村區畫ノ形況ニ依リ番號ノ順序ニ拘ハラス最寄接近ノ家并ニ從テ編制スルモ妨ケナシ
第三條 每伍組ニ伍長一人ヲ置ク伍長ハ其組内ニ於テ之ヲ公選スヘシ但戶長ニ於テ其當撰人ヲ不當器ト認ムルトキハ郡長ノ許可ヲ得テ之ヲ改撰セシメ又ハ戶長ノ見ル所ヲ以テ撰舉スルコトヲ得ヘシ
伍長ハ俸給ナキモノトス但町村ノ協議ヲ以テ相當ノ手當ヲ給スルハ妨ケナシ其額ハ町村會ノ決議ヲ以テ定ムヘシ
第四條 伍長撰舉ノ規則及其順序ハ町村ノ便宜ニ從ヒ戶長ニ於テ取設ケ郡長ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ
第五條 伍組中ハ尤モ新陸ヲ旨トシ互ニ相保佑扶持スルヲ要ス若シ組中ニ於テ紛議ヲ生

スルコトアラハ成ヘク一應伍長ノ意見ヲ聞クヘシ

第六條 伍長ハ戶長ヨリ廻達スル布告布達等ヲ承ケテ之ヲ組内ニ觸示シ且ツ其主意ヲ解セサルモノアラハ之ヲ説明シ心得違ノ者ナカラシメシテ之ヲ務ムヘシ

第七條 伍長ハ戶籍其他組内ノ事務ニ付戶長ヨリ調理ヲ囑任スルコトアルトキハ之ニ從事スヘシ

第八條 伍長ハ平生組内ノ新陸ヲ保持シ若シ組内ニ於テ紛議ヲ生シ之ヲ説解シテ及ハサルトハ戶長ニ申告スヘシ

第九條 前各條ノ外組内ノ者ヨリ委托ヲ受ケタル事件ハ伍長ハ之ヲ代理處辨スルコトアルヘシ

○甲第十壹號 明治十五年一月廿四日

本縣縣會議員并常置委員改撰交替手續縣會決議ヲ以左ノ通相定候條此旨布達候事

縣會議員并常置委員改撰交替手續

- 一 縣會議員任期滿限ニ至レハ其年通常會ヲ終ルノ後直チニ解職スルモノトス
- 一 後任議員ヲ選舉スルハ其年通常會前ニ於テ豫メ之ヲ執行スヘシ
- 一 後任議員ハ其年通常縣會ヲ終ルノ後ニ於テ直ニ就職スルモノトス
- 一 常置委員任期滿限ニ至レハ其年通常縣會ヲ終ルノ後直ニ解任スルモノトス
- 一 次期ノ常置委員ハ其年通常縣會ヲ終ルノ後ニ於テ直ニ選任就職スルモノトス

○甲第七拾壹號 明治十五年六月十日

○雜部

○雜部

公園借地人規則別紙ノ通創定ス

但明治十二年(二月)甲第四拾六號布達公園借地人心得相廢止候事
右布達候事

公園借地人規則

第一條 衆庶勸樂及便利ノ爲メ公園地ニ於テ借地開業ヲ允可スルモノ左ノ如シ
但園内ノ都合ト同業ノ多寡ニ依リ許可スルコトアルヘシ

一 休憩所

一 書籍物品展覽所

一 書畫并寫眞骨董店

一 琴碁書畫其他集會席

一 植樹盆栽店

一 割烹店

一 遊戲場

一 臨時觀覽物

遊戲臨時觀覽物ハ其事柄ニ依リ許可セサルヘシ

第二條 貸地期限ハ十五ケ年以内タルヘシ

第三條 借地人ハ別ニ地租及地方稅中地租割ヲ納ムルニ及ハスト雖モ相當借地料ヲ納ム
ルモノトス

第四條 借地人中ヨリ正副取締各一員ヲ撰任シ園内一切ノ取締ヲ爲サシム

第五條 借地人ハ其借地接續地若干ヲ割當テ其掃除及樹木保護ノ一ヲ負擔セシム

第六條 借地人ハ前條區域外ト雖モ建物樹木泉水々路等ヲ損害シ又ハ魚ヲ捕ル者不潔
物ヲ投棄スルモノ等ヲ認ムルハ之ヲ制シ又ハ出張巡查ニ報告スヘシ

第七條 園内ニ於テ他人ヲ宿泊セシメ又ハ猥雜ノ舞曲等爲サシムヘカラス

第八條 借地人ニ於テ男女雇人ヲ要スルトキハ其本籍父兄ノ氏名年齢等ヲ具シ其出入ノ
時々取締ヘ届出ヘシ

第九條 主任官吏又ハ取締ニ於テ家屋ノ修理及掃除方其他不都合ト認ムルトキハ臨時指
揮スル義モ可有之ニ付其旨ニ違背スヘカラス

第十條 前條々ニ違背シ又ハ其所爲取締風俗上ニ關シ不都合ト認ムルトキハ一時營業ヲ
停止シ或ハ貸渡年限中ト雖モ立除キテ命スルコトアルヘシ

○甲第四拾六號 明治十六年
八月廿二日

明治十五年(三月)甲第四拾九號布達官令公布式左ノ通改正來九月一日ヨリ施行ス

但官省ノ告示ハ本年七月以後特ニ人民ノ周知ヲ要スト思料スルモノ、外當廳ニ於テ
公布ノ手續ヲ爲サス

右布達候事

官令公布式

第一條 凡ソ太政官ノ布告布達及當廳ノ布達ハ揭示ト新聞紙トヲ以テ公布スヘシ

○雜部

八一

但別段至急ヲ要スル事件及ヒ特ニ營業人等ニ達スル事件ハ本條ノ式ヲ以テスル外各戸又ハ各營業人ニ廻達スルコトアルヘシ

第二條 當廳ヨリ發スル告示及諸報告（學事報告衛生報告勸業報告等）ハ新聞紙ニ登載スルヲ以テ公式トシ別ニ告示又ハ報告書ヲ發布セス

官省ノ告示中特ニ人民ノ周知ヲ要スルモノ又前項ノ例ニ依テ公布ス

第三條 揭示ハ各町村便宜ノ場所ニ於テ一ヶ所若クハ數ヶ所ノ揭示場ヲ設置シ凡ソ三十日之ヲ揭示スヘシ

第四條 新聞紙ハ每紙ノ首部ニ官令ノ欄ヲ設ケテ布告布達ヲ登載シ其次ニ官報ノ欄ヲ設テ告示及諸報告ヲ登載スヘシ

第五條 官令官報ヲ登載スヘキ新聞紙ハ二種トシ而シテ當分山梨日々新聞紙一種ヲ以テ之ヲ施行スヘシ

○甲第四拾四號 明治十七年七月二三日

町村會規則別紙之通之ヲ定ム
右布達候事

町村會規則

第一章 總則

第一條 町村會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別ツ其定期ニ於テ開クモノヲ通常會トシ臨時ニ開クモノヲ臨時會トス

第二條 臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ス

第三條 町村會ハ每年通常會ノ初ニ於テ前年度町村費出納決算ノ報告ヲ受ク

第四條 戸長ハ議事細則ヲ定メ縣廳ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルヲ得

第二章 選舉

第五條 町村會議員ノ定數ハ戸數三百戸未滿ノ町村ハ六人三百戸以上五百戸未滿ノ町村ハ八人五百戸以上ノ町村ハ拾人トス

第六條 戸長事故アリテ議員中ヨリ議長ヲ指定スル場合ニ於テハ議員ハ其指定ヲ拒ムヲ得ス

第七條 書記ハ議長之ヲ撰ミ庶務ヲ整理セシム

第八條 議員ヲ選舉セントスルトキハ戸長ニ於テ選舉會ヲ開クヘキ日ヲ定メ少クモ十日
前ニ該町村内ニ公告スヘシ

第九條 選舉ノ投票ハ豫定ノ日該町村役所ニ於テ之ヲ爲シ戸長之ヲ調査シ選舉會中ノ取締ヲ爲スヘシ但便宜ニ依リ役所外ニ於テ選舉會ヲ開クヲ得

第十條 選舉人ハ豫メ戸長ヨリ附與シタル投票用紙ニ自己及ヒ被選人ノ姓名年齢ヲ記シ豫定ノ日之ヲ戸長ニ出スヘシ投票ハ多數ノ者ヲ以テ當撰トシ同數ノ者ハ年長ヲ取り同年ノ者ハ圖ヲ以テ定ム

但投票ハ代人ニ托シ差出スモ妨ケナシ

第十一條 投票終ルノ後戸長ハ選舉人名簿ニ就テ當票ノ當否ヲ查シ又被選人名簿ニ就テ

○ 雜部

八四

當撰人ノ當否ヲ查ス若シ法ニ於テ不適當ナル者アルカ或ハ當撰人自ラ其撰ヲ辭スレト
キハ順次當票ノ多數ヲ得ルモノヲ取ル

第十二條 當撰人ノ當否ヲ査定スル后戶長ハ其當撰人ヲ役所ニ呼出シ當撰狀ヲ渡シ當撰
人ハ請書ヲ出スヘシ

但當撰人各請書ヲ出シタル后戶長ハ其姓名ヲ町村内ニ公示スヘシ
第十三條 議員ノ任期ハ六年トシ三年毎ニ全數ノ半ヲ改撰ス第一回三年期ノ改撰ヲ爲ス
ハ抽籤ヲ以テ其退任者ヲ定ム

但前任者ヲ再撰スルヲ得

第十四條 議員中區町村會法第十條ニ定メラレタル各款ニ遭遇スルカ又ハ其町村外ニ轉
任スルカ其他總テ欠員アルキハ之レニ代ル者ヲ撰擧ス

第三章 議則

第十五條 議員半數以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第十六條 會議ハ過半數ニ依テ決ス可否同數ナルキハ議長ノ可否スル處ニ依ル

第十七條 戶長ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明シ又ハ代理人ヲ辨明セシムルヲ得

第十八條 會議ハ傍聽ヲ許ス但議長ハ時宜ニ依リ傍聽ヲ禁スルヲ得

第十九條 議員ハ會議ニ當リ充分討論ノ權ヲ有ス然レトモ人身上ニ付褻貶毀譽ニ涉ルヲ
得ス

第二十條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ則規ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ順

ハサル者アルキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ涉ル者ハ警察官吏ノ
處分ヲ求ムルヲ得

第四章 開閉

第廿一條 町村會ハ毎年一度五月ニ於テ之ヲ開ク其開期ハ七日以内トス其開閉ハ戶長之
ヲ命ス

第廿二條 通常開期ノ外會議ニ附スヘキ事件アル時戶長ハ臨時會ヲ開クヲ得其開期ハ三
日以内トス

但該會ヲ要スル事由ハ郡長ヲ經テ縣廳ニ報告スヘシ

第五章 聯合町村會 附水利土功會

第廿三條 數町村ニ關涉スル事件ニ付聯合町村會ヲ開設スルキハ左ノ例ニ依リ議員ヲ出
スヘシ

- 一二町村會ヲ聯合開設スルモノハ 每町村 各四人
- 一三町村會以上五町村會以下ヲ以聯合開設スルモノハ 每町村 各三人
- 一六町村會以上拾町村會以下ヲ以聯合開設スルモノハ 每町村 各二人
- 一十一町村會以上ヲ以聯合開設スルモノハ 每町村 各一人

第廿四條 數町村ニ戶長一人ヲ置ク町村ニ於テ町村各自ニ議會ヲ開クヘキ要用ナシ或ハ
開クコト能ハサル場合アルキハ聯合町村一體ニ關スル事項ヲ議スル爲メ其町村役所所轄
内ノ町村ヲ以聯合町村會ヲ開設スルコトヲ得其議員ノ數ハ第廿三條ノ例ニ依ル

○ 雜部

八五

○雜部

八六

第廿五條 聯合町村會議員ハ各町村會議員中ヨリ互撰スルモノトス但第二十四條ノ議員ハ各町村ヨリ撰舉セシムヘシ

第廿六條 一町村内ノ一局部若シハ數町村内ノ數局部ニ關涉スル水利土功ノ事項ニ關シ水利土功會ヲ開設スルキ及ヒ町村ノ境界ニ依ラサル小學校設置ノ區域ニ於テ其學區内ノ教育事項ニ關シ議會ヲ開設スルキハ左ノ例ニ依リ議員ヲ出スヘシ

一 二局部以上數局部ニ關涉スルモノハ第廿三條ノ例ニ準シ各局部ヨリ撰舉セシム

一 一局部ニ止マルモノハ第五條ノ例ニ依リ撰舉セシム

第廿七條 聯合町村會水利土功會學區會ノ區域戶長數人ノ所轄ニ涉ルモノハ其關係アル戶長ヲシテ管理セシム但其事項重大ニ屬スルカ又ハ區域廣濶ナルカ若シハ數部ニ涉ルモノハ郡長ヲシテ管理セシム或ハ其議會ノ評決戶長ヲシテ施行セシムルヲアルヘシ

第廿八條 聯合町村會水利土功會學區會ノ議員ハ任期ナシ該會終レハ即チ解散ス但毎年該會ヲ要スルモノハ其任期ヲ三年トス

第廿九條 本章前各條ノ外ハ總テ第一章第二章第三章第四章ノ各條ニ準據ス

第六節 雜則

第三十條 町村會議員ハ俸給旅費日當ヲ給セス

水利土功會聯合町村會ノ議員ハ片道三里以上ノ地ニシテ一日間ニ往復シ得サル者ニ限リ旅費日當ヲ給ス其額ハ縣廳ニ於テ定ムル所ニ從ヒ會議費中ヨリ支給ス

第卅一條 町村會聯合町村會水利土功會等ノ書記ハ俸給ヲ給ス其額ハ會議ノ評決ヲ以テ

參考

之ヲ定メ會議費中ヨリ支出ス

○甲第四十六號 明治十七年七月八日
町村會規則第三十條第二項水利土功會聯合町村會議員旅費日當支給方左ノ通之ヲ定ム

一 旅費ハ片道三里以上十里迄ヲ一日程トシ一日金四拾錢トス

但片道三里以上十里未滿ト雖ハ猶本項ノ額ヲ支給ス

一日當ハ滯在一日金貳拾錢トス

一日當ハ議員ノ參會スルモ議場ニ出席セサレハ支給セス

右布達候事

○甲第五十一號 明治十七年八月五日
數町村ニ戶長一人ヲ置シ町村ニ於テ聯合町村一体ニ關スル事項ヲ議スル爲メ聯合町村會ヲ開ク場合ニ於テ議員選舉ノ法ハ規則第廿四條ニ明文有之處西山梨郡甲府總町並同郡上府中組ニ於テ本條ノ會議ヲ要スルキハ戶長管理スル所ノ數町ヲ一体トシ特ニ規則第五條ノ例ニ依リ議員ヲ選舉スヘシ

但戶長ハ實際便宜ニ依リ管理内ノ各町ヲ組合セ選舉區域ヲ定メ縣廳ノ認可ヲ得テ施行スルヲ得

右布達候事

○甲第五拾六號 明治十七年九月廿五日
戶長役場管轄區域及役場名稱位置自今別紙之通改定ス

○雜部

八七

○ 雜部

東	郡	梨
石御相祝清一國錦英玉鵜 廩代興與野櫻立村田飼 村村村村村村村村 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場	初鶴等勝日松諏 鹿瀨々沼川里訪 野瀨力村村村村 村村村村村 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場 戸長役場	七里村 上於曾組 奧野田村 休息村 三ヶ村 山村 小佐手村 綿塚村 菱山村 山村 同村 室伏組 同村 小屋敷組 同村 歌田組 勝沼村 鶴瀨村
鵜飼村 市部組 錦村 井ノ上組 國立村 金田組 祝村 下岩崎組 御代咲村 神澤組	鶴瀨村 初鹿野村 勝沼村 等々力村 日川村 松里村 諏訪村 諏訪村 日川村 松里村 勝沼村 等々力村 鶴瀨村 初鹿野村	七里村 奧野田村 休息村 山村 小佐手村 綿塚村 菱山村 山村 同村 室伏組 同村 小屋敷組 同村 歌田組 勝沼村 鶴瀨村

八	代	郡
大野寺村 戸長役場 外三ヶ村 戸長役場 南八代村 戸長役場 外四ヶ村 戸長役場 圭林村 戸長役場 永井村 戸長役場 米倉村 戸長役場 五成村 戸長役場 藤壘村 戸長役場 寺尾村 戸長役場 白井河原村 戸長役場 上曾根村 戸長役場 下曾根村 戸長役場 富士見村 戸長役場 瀧川村 戸長役場 豐富村 戸長役場 西湖村 戸長役場 日影村 戸長役場 田野村 戸長役場 木賊村 戸長役場 上黒駒村 戸長役場 下黒駒村 戸長役場 藤ノ木村	大野寺村 南八代村 圭林村 石橋組 五成村 大久保組 上曾根村 河内組 同村 上向山組 同村 木原組 西湖村 日影村 上黒駒村	大野寺村 金生村 竹居村 奈良原村 高家村 岡村 北八代村 南八代村 増田村 圭林村 永井村 米倉村 五成村 藤壘村 寺尾村 白井河原村 上曾根村 下曾根村 富士見村 瀧川村 豐富村 西湖村 日影村 田野村 木賊村 上黒駒村 下黒駒村 藤ノ木村

○ 雜部

○雜部

西	八	代
鶯宿村 上蘆川村 中蘆川村 上野村 大塚村 豐和村 羽鹿島村 落居村 山家村 三保村 三澤村 四ヶ村 古關村 八ヶ村 岩間村 四ヶ村 高田村 印澤村 八ヶ村 九一色村 市川大門村 富里村 共和村	鶯宿村 上蘆川村 中蘆川村 上野村 大塚村 豐和村 羽鹿島村 落居村 山家村 三保村 三澤村 四ヶ村 古關村 八ヶ村 岩間村 四ヶ村 高田村 印澤村 八ヶ村 九一色村 市川大門村 富里村 共和村	大河内村 大須成村 西島村 大須成村 曙村 五箇村 都川村 三里村 湯島村 奈良田村 身延村 豐岡村 切石村 八日市場村 飯富村 伊沼村 八日市場村 三ヶ村 切石村 豐岡村 身延村 奈良田村 湯島村 三里村 都川村 五箇村 曙村 西島村 大須成村 大河内村

○雜部

郡	南	巨	摩
大河内村 大須成村 西島村 大須成村 曙村 五箇村 都川村 三里村 湯島村 奈良田村 身延村 豐岡村 切石村 八日市場村 飯富村 伊沼村 八日市場村 三ヶ村 切石村 豐岡村 身延村 奈良田村 湯島村 三里村 都川村 五箇村 曙村 西島村 大須成村 大河内村	大河内村 大須成村 西島村 大須成村 曙村 五箇村 都川村 三里村 湯島村 奈良田村 身延村 豐岡村 切石村 八日市場村 飯富村 伊沼村 八日市場村 三ヶ村 切石村 豐岡村 身延村 奈良田村 湯島村 三里村 都川村 五箇村 曙村 西島村 大須成村 大河内村	大河内村 大須成村 西島村 大須成村 曙村 五箇村 都川村 三里村 湯島村 奈良田村 身延村 豐岡村 切石村 八日市場村 飯富村 伊沼村 八日市場村 三ヶ村 切石村 豐岡村 身延村 奈良田村 湯島村 三里村 都川村 五箇村 曙村 西島村 大須成村 大河内村	大河内村 大須成村 西島村 大須成村 曙村 五箇村 都川村 三里村 湯島村 奈良田村 身延村 豐岡村 切石村 八日市場村 飯富村 伊沼村 八日市場村 三ヶ村 切石村 豐岡村 身延村 奈良田村 湯島村 三里村 都川村 五箇村 曙村 西島村 大須成村 大河内村

郡

本建村 戸長役場
福居村 戸長役場
睦合村 戸長役場
富河村 戸長役場

同村ノ内 羽鹿島組
同村ノ内 下山組
同村ノ内 南部組
同村ノ内 福士組

本建村
福居村
睦合村
富河村

中

龍王村 戸長役場
玉幡村 戸長役場
松島村 戸長役場
福岡村 戸長役場
池田村 戸長役場
陸澤村 戸長役場
吉澤村 戸長役場
清川村 戸長役場
貢川村 戸長役場
豐住村 戸長役場
西條村 戸長役場
押原村 戸長役場
常永村 戸長役場
大里村 戸長役場
三ヶ村 戸長役場
稻積村 戸長役場
三條村 戸長役場

玉幡村ノ内 上八幡
八幡組ノ内
松島村ノ内 島上條組
陸澤村ノ内 龜澤組
貢川村ノ内 上石田組
押原村ノ内 押越組
大里村ノ内 二日市場組
賑村ノ内 下河東組

龍王村 玉幡村
松島村 福岡村 池田村
陸澤村 吉澤村 清川村
貢川村 豐住村
西條村 押原村 常永村
大里村 富田村 鎌田村 二川村
稻積村 賑村 三條村

巨

郡

小井川村 戸長役場
花輪村 戸長役場
忍影村 戸長役場
御影村 戸長役場
田岡村 戸長役場
源野村 戸長役場
飯野村 戸長役場
百塚村 戸長役場
在家塚村 戸長役場
豐村 戸長役場
三ヶ村 戸長役場
三惠村 戸長役場
外三ヶ村 戸長役場
南湖村 戸長役場
淺原村 戸長役場
明穂村 戸長役場
柳井村 戸長役場
大井村 戸長役場
五明村 戸長役場
落合村 戸長役場
四ヶ村 戸長役場
野々瀬村 戸長役場
平林村 戸長役場
宮本村 戸長役場

小井川村ノ内 布施組
御影村ノ内 上高砂組
源野村ノ内 飯野新町組
豐村ノ内 在家塚村
三惠村ノ内 上今井組
南湖村ノ内 寺部組
南湖村ノ内 東南湖組
明穂村ノ内 小笠原組
大井村ノ内 古市場組
落合村ノ内 西落合組
同村ノ内 上市ノ瀬組
同村ノ内 平林村
同村ノ内 御嶽組

小井川村 花輪村 忍村
御影村 田ノ岡村
源野村 飯野村
百塚村 在家塚村
豐村 西野村 上今諏訪村 下今諏訪村
三惠村 鏡中條村 下今井村 藤田村
南湖村 淺原村
明穂村 柳村
大井村 五明村
秋山村 湯澤村 塚原村 川上村 落合村
野々瀬村
平林村
宮本村

北		巨	
登美村 戸長役場	同村ノ内 蘆倉組	增富村 戸長役場	同村ノ内 八卷組
鹽崎村 戸長役場	鹽崎村ノ内 志田組	津金村 戸長役場	同村ノ内 上戸組
河原部村 戸長役場	河原部村ノ内 龍崎驛	清里村 戸長役場	安都那村ノ内 上津金組
外三ヶ坂村 戸長役場	穂坂村ノ内 宮久保組	安都那村 戸長役場	安都那村ノ内 山東割組
穂坂村 戸長役場	上手村ノ内 三井組	熱見村 戸長役場	熱見村ノ内 村山西割組
三之藏村 戸長役場			
小笠原村 戸長役場			
上手村 戸長役場			
朝神村 戸長役場			
駒井村 戸長役場			
中田村 戸長役場			
穴山村 戸長役場			
若神子村 戸長役場			
外三ヶ坂村 戸長役場			
江草村 戸長役場			
津金村 戸長役場			
清里村 戸長役場			
安都那村 戸長役場			
安都那村 戸長役場			
熱見村 戸長役場			
甲村 戸長役場			

摩		郡		南	
大泉村 戸長役場	大泉村ノ内 谷戸組	三吉村 戸長役場	三吉村ノ内 玉川組	大富村 戸長役場	大富村ノ内 木立組
小泉村 戸長役場	日野春村ノ内 塚川組	開地村 戸長役場		大富村 戸長役場	
秋田村 戸長役場	篠尾村ノ内 上笹尾組	盛里村 戸長役場		大富村 戸長役場	
篠尾村 戸長役場	菅原村ノ内 白須組	鳴澤村 戸長役場		大富村 戸長役場	
清春村 戸長役場	新富村ノ内 山高組	大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
小淵澤村 戸長役場	清哲村ノ内 青木組	大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
鳳來村 戸長役場	大草村ノ内 下條西割組	大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
菅原村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
駒城村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
新富村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
武里村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
圓野村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
清哲村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
神山村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
旭村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	
龍岡村 戸長役場		大富村 戸長役場		大富村 戸長役場	

明治十七年十月六日御届
同年十二月出版

定價金壹圓五拾錢

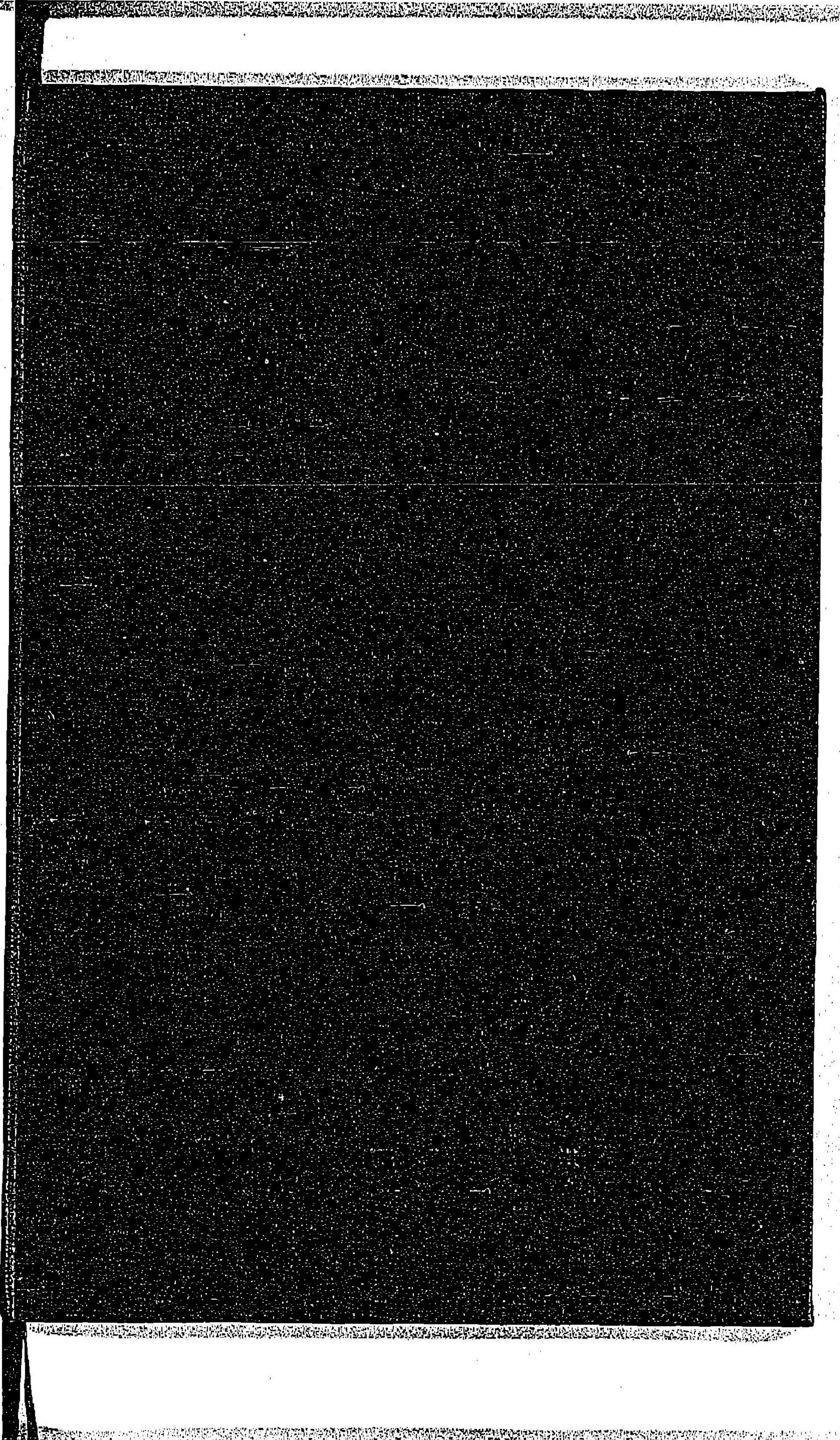
山梨縣平民

編纂兼
出版人

內藤傳右衛門

西山梨郡常盤町四番地

井打125



禁電子式複写

031295-000-9

CZ-1113-53-04

現行山梨県規則全書

内藤 伝右衛門／編

M17

BBD-0449



